

Panasonic

Hi-Fi 業務用ビデオ

品番

AG-DS555

S VHS

品番

AG-DS545



(上のイラストはAG-DS555です。)

保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店よりお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

このビデオはS-VHS方式ビデオです。S VHS マーク、VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

著作権（録画テープの取扱い）

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

上手に使って上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

はじめに

安全上のご注意

目次

各部の名称

基本操作

各種スイッチの設定

TBCの調整

編集操作

ダイヤルメニュー機能

タイムコード

接続

異常事態の対策

機能解説

その他

はじめに

このたびは、
業務用高級編集機AG-DS555/業務用再生機AG-DS545を
お求めいただきまして、まことにありがとうございました。

本機は、産業用、学校用、スタジオ用およびCATV送出用を対象に開発された編集用ビデオカセットレコーダです。

この取扱説明書はAG-DS555とAG-DS545共用になっております。

高画質

以下の機能の採用により、美しい画質が得られます。

- S-VHS方式による、高解像度で鮮明な画質
- 高性能S-VHS回路により、ダビング時の画質を向上
- TBC (タイムベースコレクタ) による、ジッターの抑えられた画質 (TBC ON/OFF機能)
- DNR (デジタルノイズレテューサ) による、通常画質より1世代S/N比の良い画質
- 高性能Y/C分離

高信頼性メカニズム

AIサーボによる大径キャプスタン、2リールモータ駆動方式、DDシリンダなどの高信頼性メカニズムの採用で高度な編集が可能になりました。

また、クリーニング機構により、ビデオヘッドのよごれなども軽減されます。

多彩なシステムアップ性

本機は、編集コントローラAG-A350 (RS-422A、9ピンシステム) を接続することにより、編集機の機能を十分に生かし、精度の高い自動編集を行うことができます。

目次

各部の名称	
安全上のご注意	4
前面パネル	8
カウンタディスプレイ	11
後面パネル部	12

基本操作	
電源投入のしかた	14
カセット挿入のしかた	15
記録のしかた(AG-DS555のみ)	16
再生のしかた	18
サーチ操作について	20
AUTO STOP機能について	21

各種スイッチ設定	
音声系のスイッチ設定	22
1. METERスイッチ	22
2. AUDIO MONITORスイッチ	22
3. AUDIO OUT SELECTスイッチ	22
映像系のスイッチ設定	23
1. DNRスイッチ設定	23
2. TBCスイッチ設定	23
3. VIDEO LEVEL調整つまみ (AG-DS555のみ)	23
4. MEMORYスイッチ (AG-DS555のみ)	23
その他のスイッチ設定	24
1. INPUTスイッチ(AG-DS555のみ)	24
2. CONTROLスイッチ	24
3. ON SCREENスイッチ	24

TBCの調整	
TBC(タイムベースコレクタ)部の調整	25

編集操作	
編集操作を行う前に	29
編集モードの選択(AG-DS555のみ)	30
手動編集の実行(AG-DS555のみ)	31
AUTO CUT OUT編集(簡易自動編集) (AG-DS555のみ)	32
スプリット編集のしかた (AG-DS555のみ)	34
編集時のお知らせ(AG-DS555のみ)	35

ダイヤルメニュー機能	
ダイヤルメニュー機能の操作	36
SETUP-MENU画面について	39
1. 操作・機能関係のセットアップ	39
2. 映像関係のセットアップ	40
3. 音声関係のセットアップ	42
4. スーパーインポーズ関係のセットアップ	43
5. リモート関係のセットアップ	44
6. 編集関係のセットアップ	45
7. タイムコード関係のセットアップ	46

タイムコード	
タイムコード/ユーザズビットについて	48
タイムコード関係のスイッチ設定	49
タイムコード/ユーザズビットの記録 (AG-DS555のみ)	50
タイムコード/ユーザズビットの再生	51
スーパーインポーズ画面について	52

接続	
基本システムの接続	54
9P編集コントローラを使ったシステム	55
ダンピング接続	57
業務用MII機を使ったシステム	58

異常事態	
エラー表示について	59
故障かな?と思う前に…ちょっと/	60

機能解説	
サーボリファレンスについて	61
コネクタの信号について	62

その他	
ラックマウントアダプタ(別売品)	63
付属品と別売品のご紹介	64
日常点検について	65
アフターサービス	66
定格	67

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について

警告

■不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■電源コード上に重い物を乗せない!



禁止

本機の下敷にならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。

■コードに重いものを載せない!



禁止

本機の下敷にならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

設置について

■水場に設置しない！



火災・感電の原因となります。

水場使用禁止

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！



感電の原因となります。

禁止

■コンセントや配線機器の定格を越える使い方や、100V以外での使用はしない！



たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

禁止

■付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故をおこすおそれがあります。

異常時の処理について

■本機を落としたり、破損した場合は電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

●お買い上げの販売店に、ご相談ください。

■煙が出ている、変なおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



火災・感電の原因となります。

●お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

電源プラグを抜く

■電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

●お買い上げの販売店に、ご相談ください。

お手入れについて

■電源プラグのほこり等は定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

禁止

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



火災・感電のおそれがあります。

禁止

■本機を改造しない！



火災・感電の原因となります。

分解禁止

■水場で使用しない！



火災・感電の原因となります。

水場使用禁止

■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等はずさない！



感電の原因となります。
・点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

分解禁止

■機器がぬれたり、水が入らないようにする！



火災・感電のおそれがあります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

禁止

■電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

・コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

■表示された電源電圧以外は使用しない！



火災・感電のおそれがあります。

禁止

■指定のカバー以外は、外さない！



感電の原因となります。
・点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

分解禁止

■電源プラグは、根元まで確実に差し込む！



感電の原因になります。

設置について

注意

■電源コードを熱器具に近づけない！



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■油煙や湯気が当たる場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■湿気やほこりの多い場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

安全上のご注意

必ずお守りください。

⚠ 注意

設置について

■電源コードを下にたらしさない！



禁止

ふれたり、引っかけたりすると、落ちてけがをすおそれがあります。

■持ち上げや移動には、十分注意する！



落としたりすると、けがの原因となります。
•10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど、慎重に取り扱ってください。

■プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない！



禁止

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

■本機の通風孔をふさがない！



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
•本機を風通しの悪い所に押し込む。
•テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

使用方法について

■本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。

■本機に乗らない！



禁止

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。

■長期間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！



指に注意

けがの原因となります。

お手入れについて

■お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

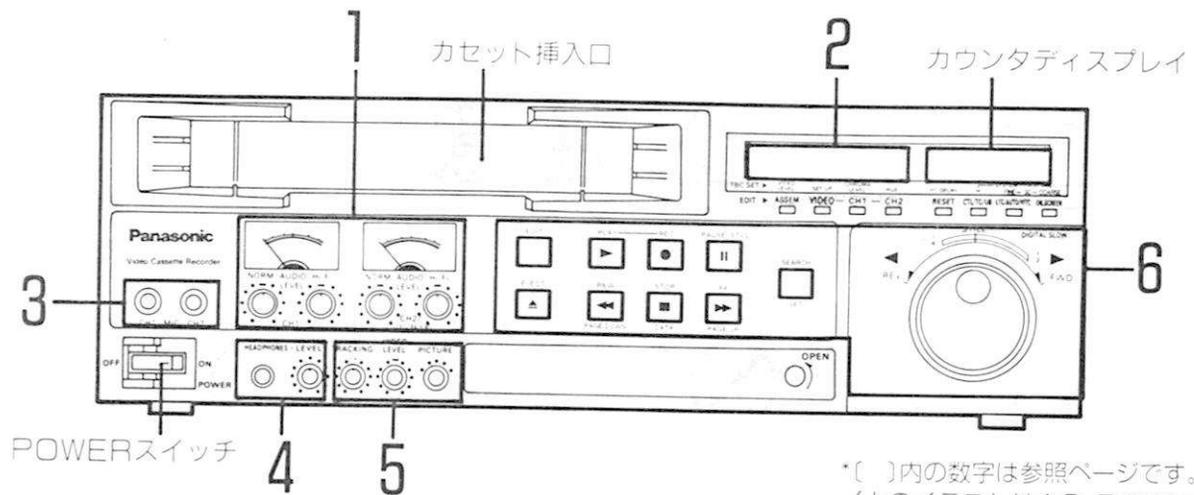
火災・感電の原因となることがあります。

■1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

前面パネル部



* []内の数字は参照ページです。
(上のイラストはAG-DS555です。)

1 レベル調整部

- Audio(CH1)レベルメータ……………CH1音声レベルを表示 [17]
- Audio(CH2)レベルメータ……………CH2音声レベルまたはトラッキングレベル/ビデオレベルを表示 [17]
- Audio(CH1)NORMAL LEVELつまみ …… ノーマル音声CH1の録音レベル調整 [17]
(AG-DS555のみ)
- Audio(CH1)Hi-Fi LEVELつまみ …… Hi-Fi音声CH1の録音レベル調整 [17]
(AG-DS555のみ)
- Audio(CH2)NORMAL LEVELつまみ …… ノーマル音声CH2の録音レベル調整 [17]
(AG-DS555のみ)
- Audio(CH2)Hi-Fi LEVELつまみ …… Hi-Fi音声CH2の録音レベル調整 [17]
(AG-DS555のみ)

2 機能表示ランプ部

- WIDEランプ……………WIDE信号記録、WIDEテープ再生時に点灯
- カセットインランプ()……………カセットを挿入すると点灯
- S-VHSランプ()……………S-VHSモード時に点灯
- Hi-Fiランプ……………Hi-Fi音声記録・再生時に点灯
- DOLBY[®] NRランプ……………ドルビーNRシステム使用時に点灯
- FRAMEランプ……………フレーム・ロック時に点灯
- LIMITERランプ(AG-DS555のみ)……………オーディオリミッタON時に点灯
- CH2-TCランプ……………オーディオCH2をLTCトラックとして使用時に点灯
- SERVOランプ……………サーボ・ロック時に点灯
- CTL/TC/UBランプ……………選択されたカウンタ表示のモードが点灯
- LTC/AUTO/VITCランプ……………選択されたタイムコードのモードが点灯

3 マイクロホン部 (AG-DS555のみ)

- MIC端子(CH1/CH2)……………M6外部マイク用接続端子 [54]

4 ヘッドホン部

- HEADPHONES端子…………… M6のステレオヘッドホン用接続端子(19)
HEADPHONE LEVEL調整つまみ…………… ヘッドホンの音量調整(19)

5 画質調整部

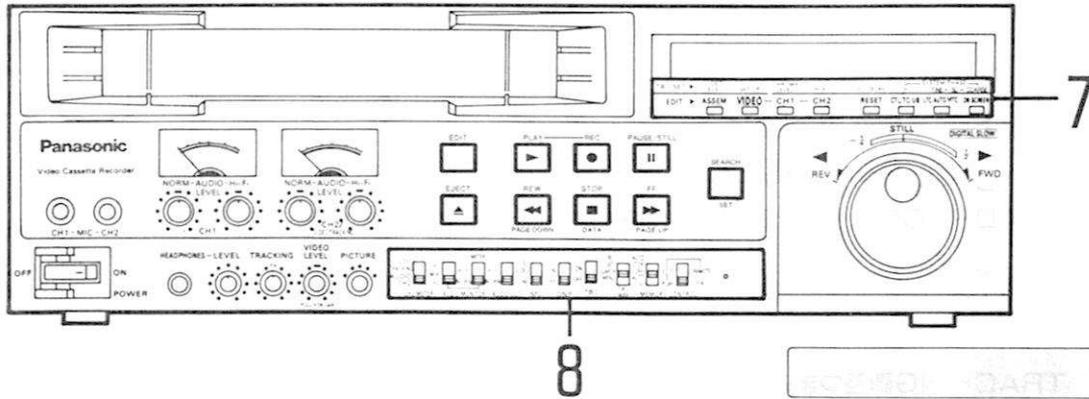
- TRACKING調整つまみ…………… ノイズ位置を調整(19)
VIDEO LEVEL調整つまみ(AG-DS555のみ)…………… 入カビデオレベルを調整(プッシュ・プル方式)(16)
PICTURE調整つまみ…………… 再生画質のソフト/シャープを調整

6 基本操作部

- EDITボタン(AG-DS555のみ)…………… PLAYボタンと同時使用で編集開始(31)
PLAYボタン…………… 再生開始(18)
RECボタン(AG-DS555のみ)…………… PLAYボタンと同時使用で録画開始(16)
PAUSE/STILLボタン…………… 再生時は静止画、録画時は一時停止
EJECTボタン…………… カセットの取出し
REW(PAGE DOWN)ボタン…………… テープの巻戻し、MENUモード時はページダウン(36)
STOP(DATA)ボタン…………… すべての動作の停止、MENUモード時はデータ設定(37)
FF(PAGE UP)ボタン…………… テープの早送り、MENUモード時はページアップ(36)
SEARCH(SET)ボタン…………… サーチの実行・解除、MENUモード時はメニュー設定、TBC SET時は標準レベルに設定(20)(28)(38)
SEARCH/JOGダイヤル…………… サーチ速度の調整(外側ダイヤルはSHUTTLEモード、内側ダイヤルはJOGモード)、MENUモード時はメニュー選択、TBC SET時はレベル設定(20)(26)(36)

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

前面パネル部(つづき)



* []内の数字は参照ページです。

矢印の方向にネジを回すとカバーがとれます。

7 編集設定部(AG-DS555のみ)/TBCモード設定部

- ASSEMBLE(VIDEO LEVEL)ボタン……………アSEMBル編集の設定、TBCモード時はビデオレベルの設定 (26) (30)
- INSERT VIDEO (SET UP) ボタン……………映像信号/Hi-Fiオーディオのインサート編集の設定、TBCモード時はセットアップレベルの設定 (26) (30) (34)
- INSERT AUDIO-CH1(CHROMA LEVEL)ボタン……………ノーマルオーディオCH1のインサート編集の設定、TBCモード時はクロマレベルの設定 (26) (30) (34)
- INSERT AUDIO-CH2(HUE)ボタン……………ノーマルオーディオCH2またはTCのインサート編集の設定、TBCモード時はヒューの設定 (26) (30) (34)
- RESET(YC DELAY)ボタン……………カウンタのリセット、TBCモード時はYCディレーの設定 (21) (26) (32) (51)
- CTL/TC/UB(SYSTEM H PHASE)ボタン……………カウンタ表示モードの切替、TBCモード時はシステムHフェーズの設定 (26) (32) (49) (51)
- LTC/AUTO/VITC(SYSTEM SC PHASE FINE)ボタン…タイムコード読み取りモードの切替、TBCモード時はシステムSCフェーズ微調の設定 (26) (49) (51)
- ON SCREEN(SYSTEM SC PHASE COARSE)ボタン…モニターテレビにデータを表示、TBCモード時はシステムSCフェーズ粗調の設定 (24) (26)

8 機能設定部

- CH2 METERスイッチ……………トラッキング/ビデオメータとオーディオCH2の切替 (16)
- AUDIO MONITORスイッチ……………モニタ音声のチャンネルを選択 (22)
- AUDIO MONITOR(METER)スイッチ……………モニタ音声の種類を切替 (17) (22)
- AUDIO OUTスイッチ……………出力音声の種類を切替 (22)
- INPUTスイッチ(AG-DS555のみ)……………映像入力信号の切替 (24)
- DNRスイッチ……………DNR作動スイッチ(Y、Cそれぞれのレベルはセットアップメニュー画面で設定) (23)
- TBCスイッチ……………TBC(タイムベースコレクタ)の切替 (23)
- DIAL MODEスイッチ……………サーチダイヤルのモードを切替 (15) (20) (26) (36)
- MEMORYスイッチ……………CONTROLスイッチ「LOCAL」時はメモリモードの切替え、CONTROLスイッチ「REMOTE」時は編集時の切替(34ピンコントローラのみ) (21) (23) (31)
- CONTROLスイッチ……………リモート/ローカルの切替 (24) (51)

カウンタディスプレイ部

DIAL MODEスイッチが「SEARCH」の場合

CTL/TC/UB ボタン	カウンタディスプレイ表示	備考
CTL	- 0 : 00 : 00 : 00	□部分は、 DFで() NDFで(:) CTL補間時で()に なります。
TC	00 : 00 : 00 : 00	
UB	00 00 00 00	

DIAL MODEスイッチが「MENU」の場合

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
SELECT PAGE	SU : 00 00	□部分は、点滅表示です。
SET PAGE	SU : 00 00 . 00	
TC PRESET	00 : 00 : 00 : 00	入力桁が点滅表示しません。(AG-DS555のみ)
UB PRESET	00 00 00 00	

アワーメータのディスプレイ表示

RESETボタンを押している間以下の項目が交互に表示されます。

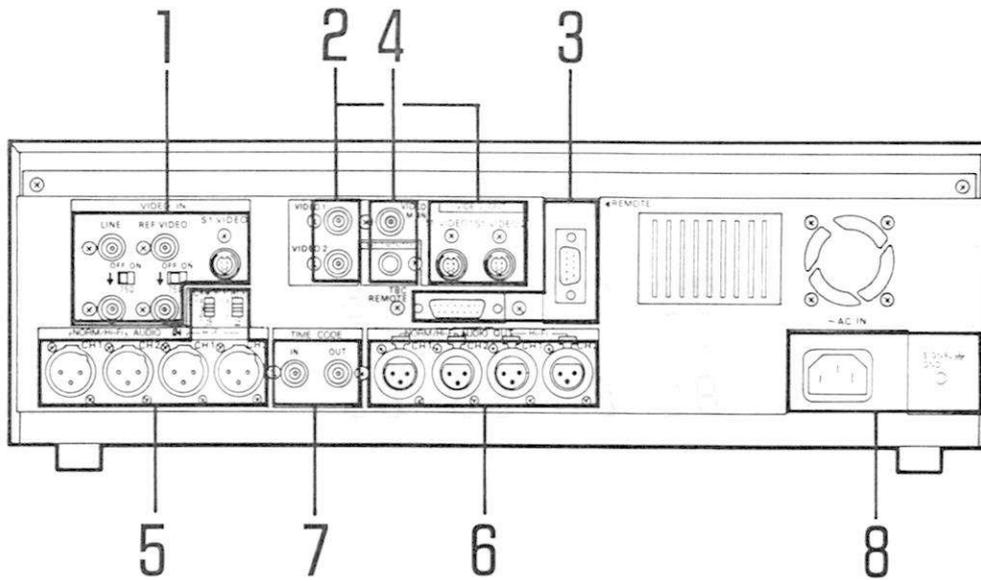
モード	カウンタディスプレイ表示	備考
キャプスタン 回転積算時間	[00 00 04	CONTROLスイッチをREMOTE側にして、DIAL MODEスイッチをMENU側にします。
総ドラム 回転積算時間	d 00 00 04	

VITC POSITION表示

RESETボタンを押している間以下の項目が表示されます。

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
VITCの位置が読み取れた場合	00 . 00 L	CONTROLスイッチをREMOTE側にして、DIAL MODEスイッチをSEARCH側にします。
VITCの位置が読み取れなかった場合	- - . - - L	

後面パネル部



* ()内の数字は参照ページです。

1 映像入力信号部

- S1-VIDEO IN端子 (AG-DS555のみ) ——— S1-VIDEO信号の入力端子〔57〕
- REF VIDEO IN端子 ——— 外部基準信号 (ブラックバーストやカラーバー信号)の入力端子 (ループスルー75Ω終端スイッチ付)
- LINE IN端子 (AG-DS555のみ) ——— 映像信号の入力端子 (ループスルー75Ω終端スイッチ付)

2 映像出力信号部

- S1-VIDEO OUT (1,2) 端子 ——— S1-VIDEO信号の出力端子〔57〕
- VIDEO OUT (1,2) 端子 ——— 映像信号の出力端子

3 リモート信号部

- TBC REMOTE端子 ——— TBCリモートコントローラの接続端子〔26〕
- REMOTE 9P端子 ——— 編集コントローラ (9P) などの接続端子〔55〕

-
- 4** モニタ出力信号部
- VIDEO MONITOR端子 ————— 映像モニタ信号の出力端子
- AUDIO MONITOR端子 ————— 音声モニタ信号の出力端子

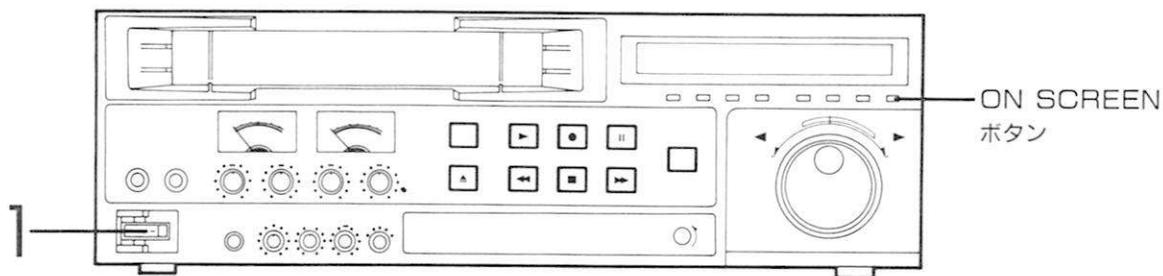
-
- 5** 音声入力信号部 (AG-DS555のみ)
- 入力音声レベルスイッチ ————— 入力レベル-6/0/+4dBsに切り替えます。
- NORM/Hi-Fi音声入力端子 ————— NORM/Hi-Fi音声 (CH1/2) の入力端子
- Hi-Fi音声入力端子 ————— Hi-Fi音声専用入力端子

-
- 6** 音声出力信号部
- NORM/Hi-Fi音声出力端子 ————— NORM/Hi-Fi音声 (CH1/2) の出力端子
- Hi-Fi出力端子 ————— Hi-Fi音声専用出力端子

-
- 7** タイムコード信号部
- TIME CODE IN端子 (AG-DS555のみ) ————— タイムコード信号の入力端子
- TIME CODE OUT端子 ————— タイムコード信号の出力端子

-
- 8** 電源回路部
- SIGNAL GND端子 ————— ノイズ軽減のため接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- AC IN端子 ————— AC100Vの電源コンセントに接続

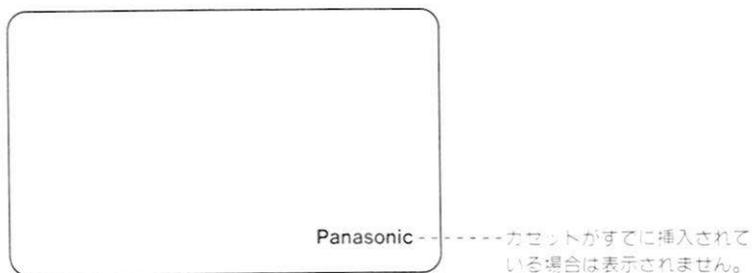
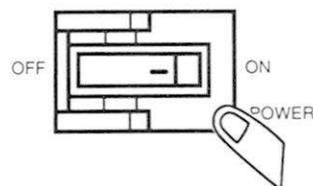
電源投入のしかた



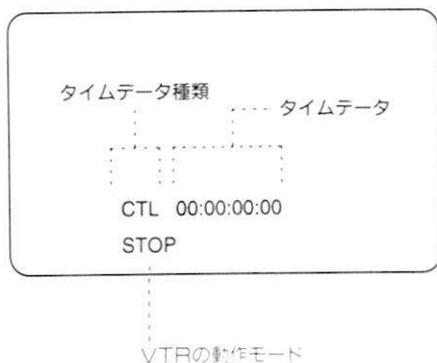
1 POWERスイッチを押します。

電源が入ります。

- 後面のVIDEO MONITOR OUT端子からの映像に、「Panasonic」のロゴをスーパーインポーズします。



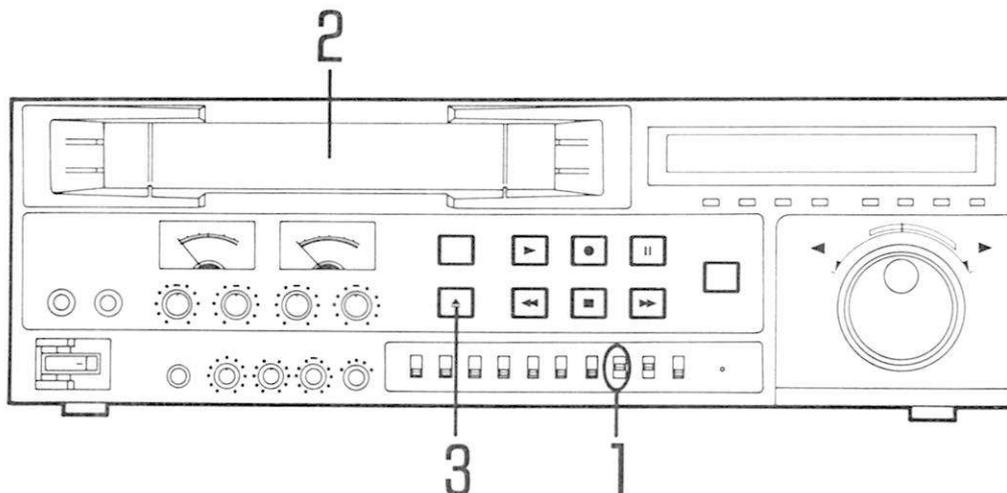
- カセットを挿入すると、表示は消えます。
(ON-SCREENボタンを押すと、以下のような表示になります。)



VTRの動作モードは、ダイヤルメニュー機能の項目(No.4004)が「ON」の場合のみ表示されます。

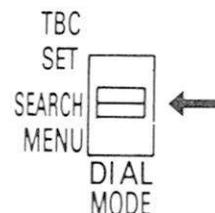
ノート ■エラー表示がディスプレイに出ている場合は、ただちに操作を止め59ページをお読みください。

カセット挿入のしかた



1 DIAL MODEスイッチを「SEARCH」側にします。

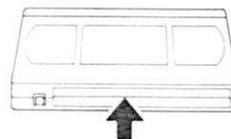
■DIAL MODEスイッチが「MENU」側になっていますと、ダイヤルメニュー機能以外の操作は行えなくなり、「TBC SET」側になっていますと、PLAY、STOP、FF、REW、EJECT、REC、PAUSE、EDIT以外の操作は行えなくなります。



2 カセットテープを挿入するには

カセット挿入口にカセットを入れ、カセットの中央部をゆっくり押し込みます。

カセットインランプが表示管に点灯します。

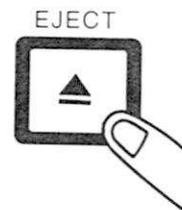


3 カセットテープを取り出すには

EJECTボタンを押します。

カセットが出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。

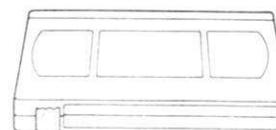
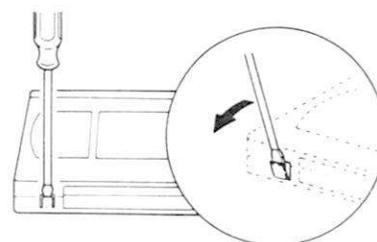
カセットインランプが消灯します。



ノート (AG-DS555のみ)

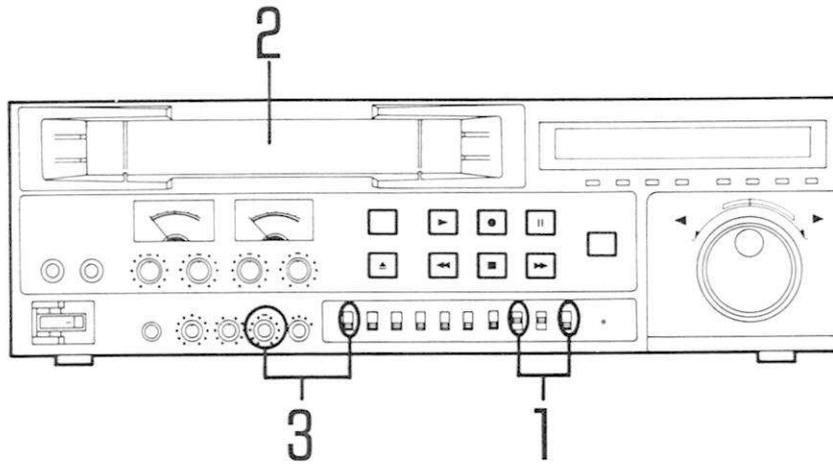
誤記録防止のためには
つめを折ると、録画が禁止されます。

再度記録する場合
折れたつめの部分に、セロハンテープを貼ります。



↑テープを貼る。

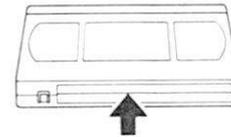
記録のしかた (AG-DS555のみ)



1 各スイッチ設定をします。(22~24ページ参照)
CONTROLスイッチ ⇨ 「LOCAL」

DIAL MODEスイッチ ⇨ 「SEARCH」

2 カセットを挿入します。(15ページ参照)
記録用カセットは、誤消去防止用つめが折れていないことを確認してください。



3 録画レベルを調整します。
(1) CH2 METERスイッチを「VIDEO・TRACKING」側にします。

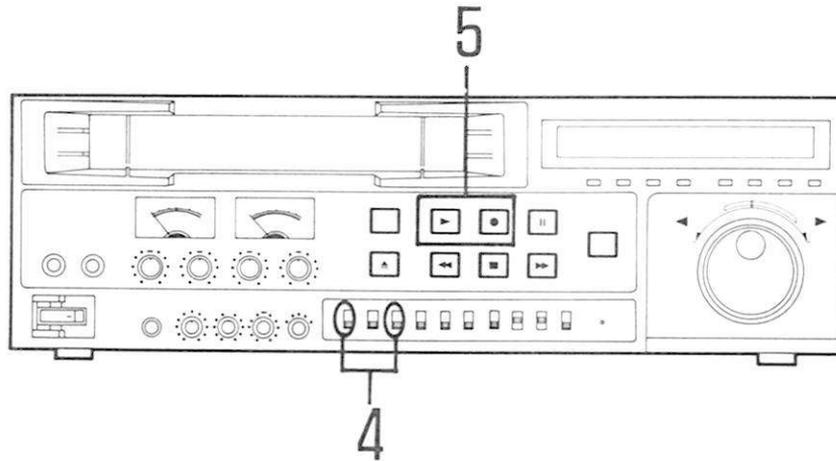
(2) 自動調整の場合
VIDEO LEVEL調整つまみを押し込んで下さい。
録画レベルが自動的に調整されます。

(3) 任意調整の場合
VIDEO LEVEL調整つまみを引き出して回します。

適性録画レベルはメータの0です。

■Audio (CH2) レベルメータは、記録時には録画レベルを表示します。





4 音声記録レベルを調整します。

(1) CH2 METERスイッチを「AUDIO CH2」側にします。

(2) 調整する音声の選択

AUDIO MONITOR (METER) スイッチを切り替えます。

Hi-Fi： Hi-Fi音声レベルがメータに表示されます。

NORM： ノーマル音声レベルがメータに表示されます。

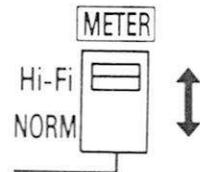
(3) レベルの調整

各レベル調整つまみを回して、レベルメータの「0」の位置を超えない範囲で、最も大きい値に調整します。

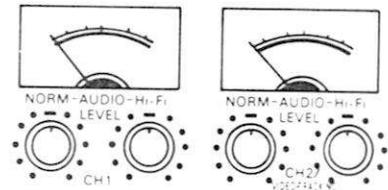
■ノーマル音声レベル調整は、ダイヤルメニュー機能「AUDIO LIMITER」(項目NO.3002)を「OFF」にしてから行ってください。



CH2 METER

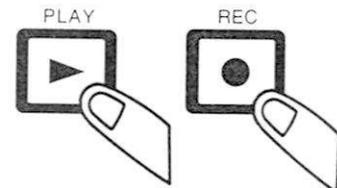


AUDIO MONITOR



5 RECボタンを押しながらPLAYを押します。

記録が開始されます。



ノート ■AUDIO LIMITER機能、ドルビーNRシステムを作動させる場合は、ダイヤルメニュー機能で設定します。(42ページ参照)

- AUDIO LIMITER機能を作動させると、記録時に過大入力があっても、自動音量制限回路が働いて歪みのない音声を記録できます。

- ドルビーNRシステムを作動させると、雑音の少ない録音再生ができます。

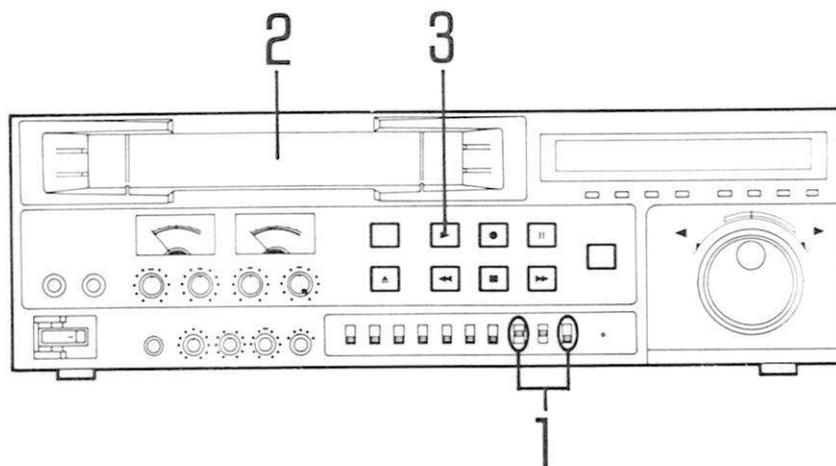
■Hi-Fi音声を記録する場合は、ダイヤルメニュー機能の「HI-FI REC」(項目NO.3003)を「ON」にします。

■ダイヤルメニュー機能「HI-FI INPUT SELECT」(項目NO.3004)でHi-Fi音声の入力端子を切り替えることができます。

また、Hi-Fi音声を記録しない場合は、レベル調整を「0」にするだけでは不十分ですので、必ず「HI-FI REC」(項目NO.3003)を「OFF」にしてください。

■外部同期信号に同期させて記録する場合は、ダイヤルメニュー機能の「SYNC」(項目NO.1001)を「EXT」にしてください。

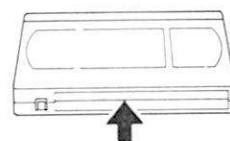
再生のしかた



1 各スイッチ設定をします。(22~24ページ参照)
CONTROLスイッチ ⇨ 「LOCAL」

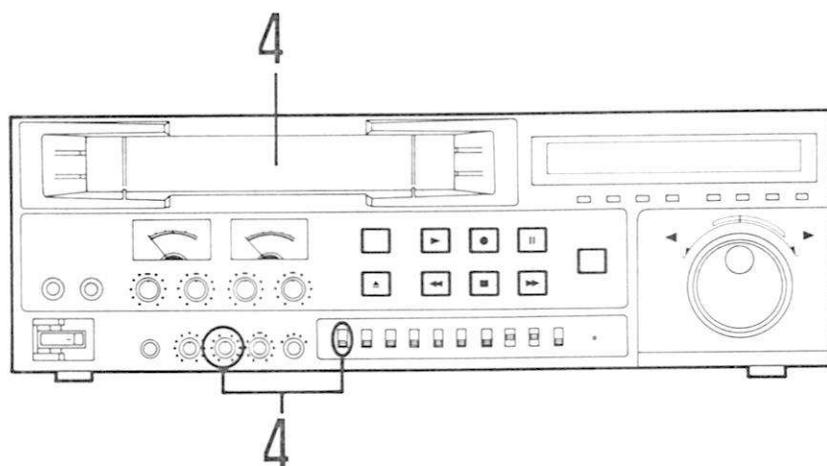
DIAL MODEスイッチ ⇨ 「SEARCH」

2 カセットを挿入します。(15ページ参照)
既に、映像・音声記録させているテープを挿入します。



3 PLAYボタンを押します。
再生が開始されます。





4 トラッキングを調整します。

(1) CH2 METERスイッチを「VIDEO・TRACKING」側にします。

(2) 通常は TRACKING調整つまみを中央のFIX点で再生を行ってください。

(3) 本機以外のVTRで記録されたテープを再生する場合 TRACKING調整つまみをゆっくり左右に回し、TRACKINGメータの針が最大になるように調整します。

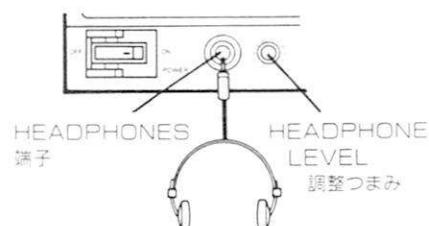


ノート ■ドルビーNRシステムで記録されたテープを再生する場合は、ダイヤルメニュー機能でドルビーNRシステムONの設定をします。(42ページ参照)

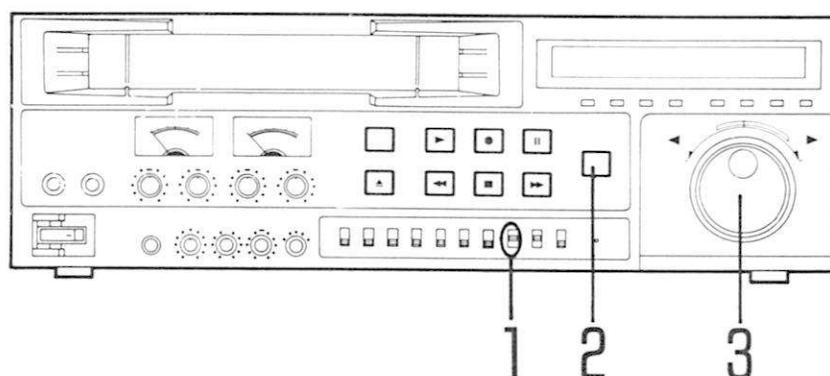
■再生時にトラッキングがずれると、Hi-Fi音声記録されていても、Hi-Fiランプは消灯しHi-Fi音声は出力されません。

■ヘッドホンを使用する場合
ハイインピーダンスのヘッドホンを接続すると、音量レベルが変わる場合があります。

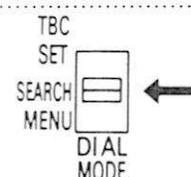
■外部同期信号に同期させて再生する場合は、ダイヤルメニュー機能の「SYNC」を「EXT」(項目NO.1001)にしてください。



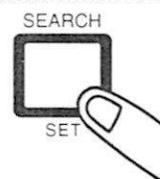
サーチ操作について



- 1 DIAL MODEスイッチが「SEARCH」側であることを確認してください。



- 2 SEARCHボタンを押します。
SEARCHボタン、PLAYボタン、PAUSE/STILLボタンが点灯し、サーチ可能状態になります。



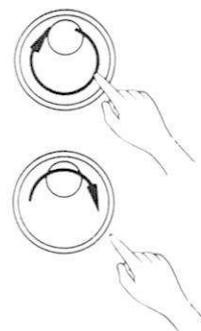
- 3 サーチダイヤルを操作します。
内側ダイヤルのJOGモードと外側ダイヤルのSHUTTLEモードがあります。
■右に回すと正方向再生 (FWDランプ点灯)、左に回すと逆方向再生 (REVランプ点灯) になります。

(1) JOGモードの場合

外側ダイヤルの位置を中央にします。内側ダイヤルを回す速度に応じて、静止画～±1倍速再生まで操作できます。回転を止めると、常に静止画像になります。

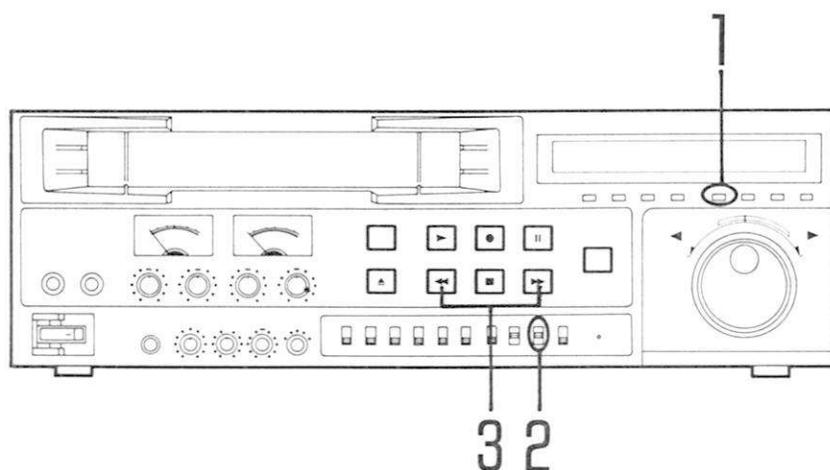
(2) SHUTTLEモードの場合

外側ダイヤルの回す角度に応じて、0～±32倍速まで再生速度を操作できます。(ただし、テープの始末端付近では、テープ保護のため低速サーチ状態になります。) 中央位置 (クリック点) では静止画像になります。



- ノート ■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしておきます。
■SHUTTLEモードの場合、再度電源を入れたときは、ダイヤルを中央位置 (クリック点) まで一度戻してから操作してください。
■ダイレクトサーチモードを設定する場合は、ダイヤルメニュー機能「DIRECT SEARCH」(項目 NO.1005) を「ON」にします。(39ページ参照)

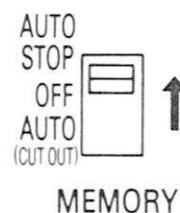
AUTO STOP機能について



- 1 自動停止させたい位置でRESETボタンを押します。
テープカウンタが「0:00:00:00」になります。



- 2 MEMORYスイッチを「AUTO STOP」側にします。

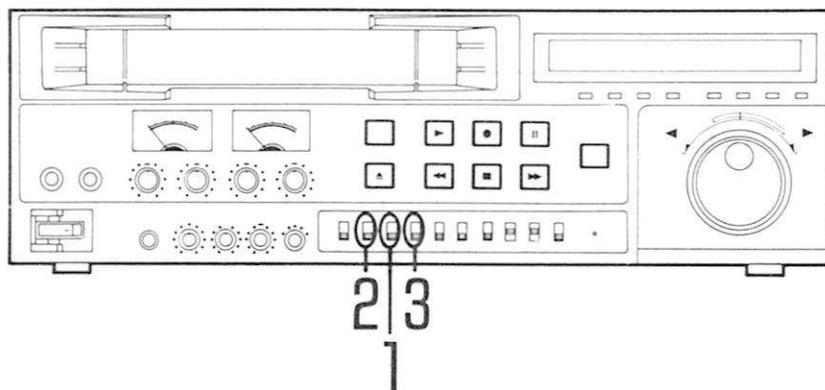


- 3 早送り、巻戻しを行います。
テープカウンタが「0:00:00:00」付近になると、自動停止します。



- ノート ■AUTO STOP機能は以下の場合動きません。
- CONTROLスイッチが「REMOTE」の場合
 - CTL/TC/UBボタンが「CTL」以外の場合
 - DIAL MODEスイッチが「MENU」の場合

音声系のスイッチ設定

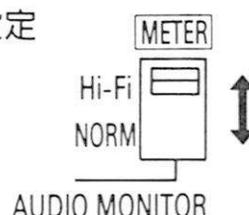


1 AUDIO MONITOR (METER) スイッチの設定

レベルメータに表示される音声と、前面のヘッドホン端子や後面のAUDIO MONITOR端子から出力される音声を選択します。

Hi-Fi : Hi-Fi音声が選択されます。

NORM : ノーマル音声が選択されます。



2 AUDIO MONITORスイッチの設定

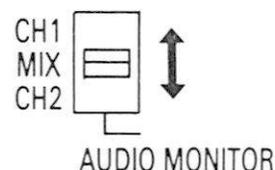
前面のヘッドホン端子と後面のAUDIO MONITOR端子から出力される音声チャンネルを選択します。

CH1 : CH1の音声が出力されます。

MIX : AUDIO MONITOR端子からは、CH1とCH2の混合音声が出力され、ヘッドホン端子からは、左側はCH1、右側はCH2の音声が出力されます。

CH2 : CH2の音声が出力されます。

■ダイヤルメニュー機能の「AUDIO CH2」(項目NO.3006)が「LTC」に設定されているときは、ノーマル音声CH2から音声が聞こえません。



3 AUDIO OUTスイッチの設定

後面のAUDIO OUT (NORM/Hi-Fi) 端子から出力される音声を選択します。

Hi-Fi : Hi-Fi音声が出力されます。

NORM : ノーマル音声が出力されます。

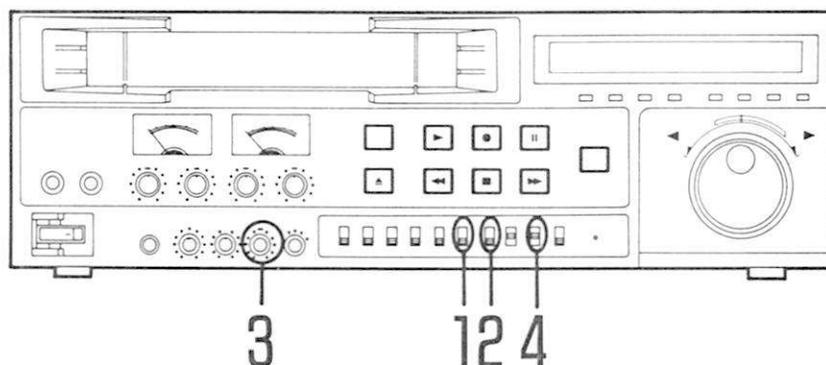


ノート ■Hi-Fi音声を記録する場合は、ダイヤルメニュー機能の「HI-FI REC」(項目NO.3003)を「ON」にします。(AG-DS555のみ)

ON : Hi-Fi音声とノーマル音声を記録します。

OFF : ノーマル音声を記録します。

映像系のスイッチ設定

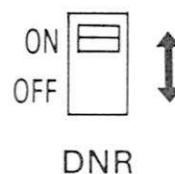


1 DNR (デジタルノイズレデューサ) スイッチの設定 (TBCスイッチがON時のみ動作)

S/N比の劣化したテープを再生する場合、画質に応じたノイズ除去を行うことができます。(ただし、若干の解像度の劣化が発生します。)

- 編集時は「OFF」にしてください。編集を重ねると画面が乱れる場合があります。
- DNR ONでダビングを重ねると残像がめだちます。

■S/N比の改善度合はダイヤルメニュー機能の項目NO.2013とNO.2014で設定することができます。



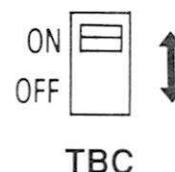
2 TBC(タイムベースコレクタ)スイッチの設定

ONにするとジッターを抑えた映像信号を出力します。

ON：TBCが動作します。

OFF：TBCは動作しません。(バイパスモード)

- 民生のVTRから信号を入力すると、映像出力信号の色が変化する場合があります。(テープの記録には影響ありません。)



3 VIDEO LEVEL調整つまみの設定 (AG-DS555のみ)

記録時のビデオレベルを自動調整します。

押す：自動調整します。

引く：自動調整しません。

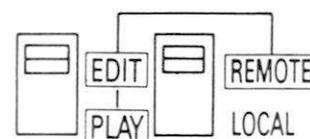


4 MEMORYスイッチの設定 (AG-DS555のみ)

CONTROLスイッチを「REMOTE」側に倒して、34Pコントローラで編集時に本機をソース機として使用するのか、エディタ機として使用するのを選択します。

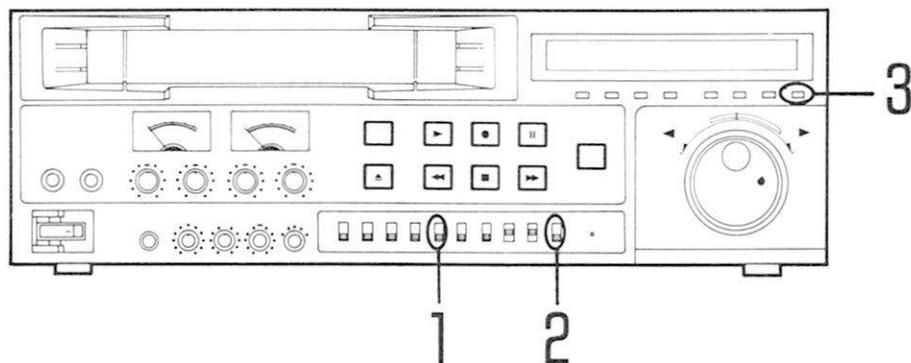
PLAY：本機をソース機とします。

EDIT：本機をエディタ機とします。



MEMORY CONTROL

その他のスイッチ設定

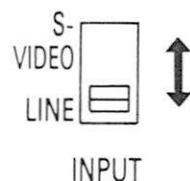


1 INPUTスイッチの設定 (AG-DS555のみ)

編集時は、入力信号によってスイッチを切り替えます。

S-VIDEO : S1-VIDEO IN端子に、入力された映像信号を記録する場合

LINE : VIDEO IN端子に、入力された映像信号を記録する場合

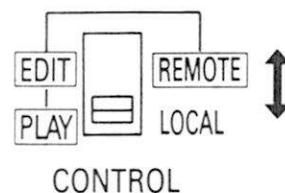


2 CONTROLスイッチの設定

REMOTE : コントローラなどで本機をリモートコントロールする場合、この位置にします。

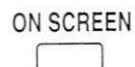
LOCAL : 本機の前面パネルで操作する場合、この位置にします。

■REMOTE時の本機の動作モードは、ダイヤルメニュー項目 NO.5001で設定できます。



3 ON SCREENボタンの設定

VIDEO MONITOR端子から出力されるビデオ信号に、タイムコードなどのスーパーインポーズ信号を付加する時に使用します。



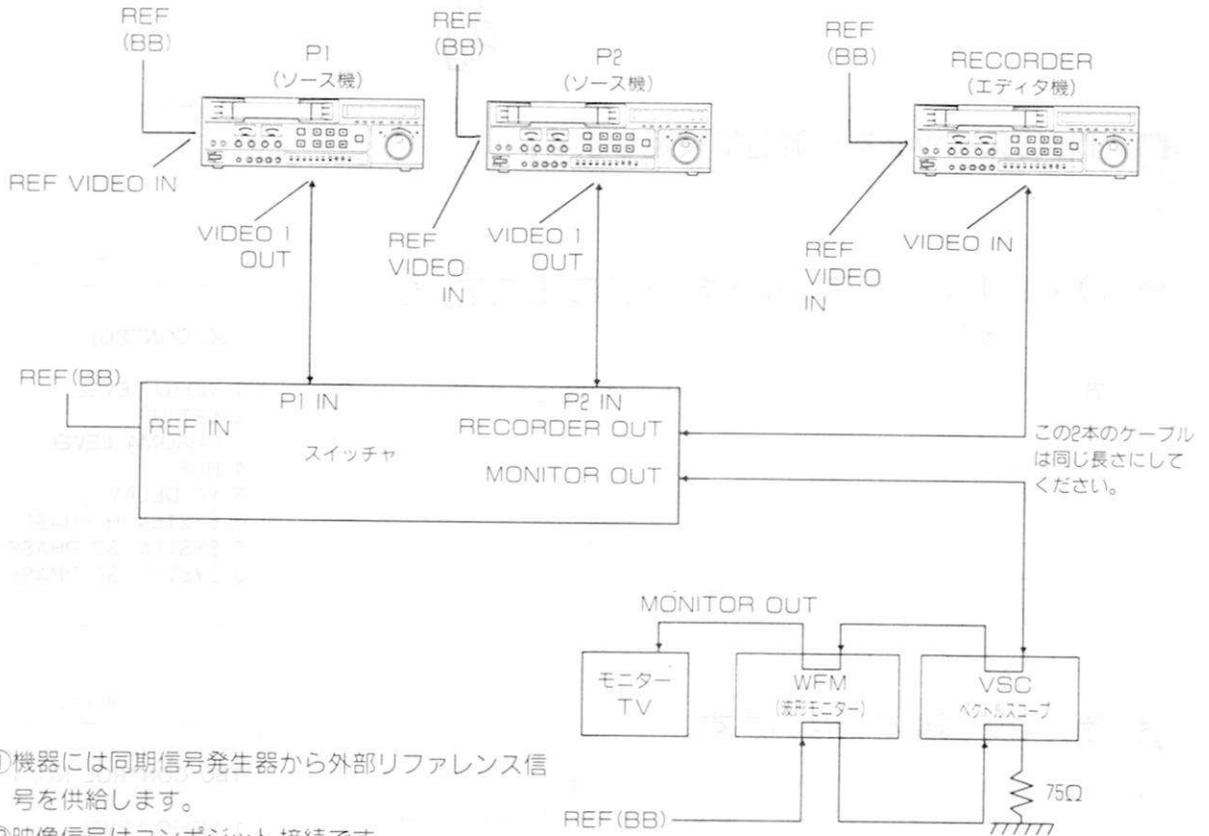
TBC(タイムベースコレクタ)部の調整

TBCを使用すると、ジッター(画面のゆれ)やスキュー歪み(画面の上部が水平方向に曲がる現象)を低減することができます。

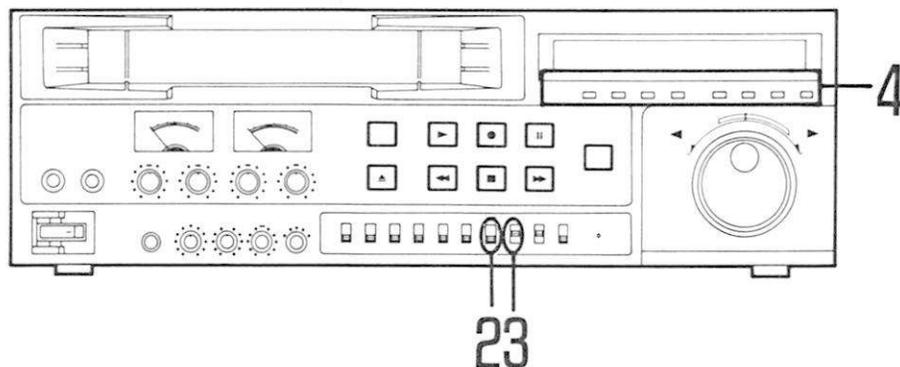
また、編集コントローラを使用してABロール編集(2台のソース機を使った編集方法)などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にTBCを調整する必要があります。

(TBCの調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えた場合などごとに調整しなおす必要があります。)

1 以下のように接続します。



TBC(タイムベースコレクタ)部の調整(つづき)



2 TBCスイッチを「ON」に設定します。

3 DIAL MODEスイッチを「TBC SET」に設定します。

■TBC SET画面(第1メニュー)がモニタ出力されます。

・ご注意

ダイヤルメニュー機能の「TBC REMOTE」(項目 NO.2015)が「REMOTE」になっている場合は、第1メニュー画面は出力されません。「TBC REMOTE」を「LOCAL」にするか、外部のTBCエンコーダで調整してください。

第1メニュー

TBC CONTROL

1. VIDEO LEVEL
2. SET UP
3. CHROMA LEVEL
4. HUE
5. YC DELAY
6. SYSTEM H PHASE
7. SYSTEM SC PHASE FINE
8. SYSTEM SC PHASE COARSE

4 単体での調整を行いません。

本機のTBCは標準カラーバーにより、すでに調整されています。通常は「0」にてご使用ください。ご使用になるテープにより再調整される場合は、下記のように行ってください。

・各項目は表示管の下の8つのスイッチ(TBCモード設定部)が向かって左側より順番に対応しています。

(1) ご使用になるテープのカラーバーを再生します。

(2) 各項目を調整します。

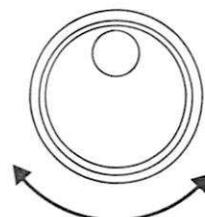
調整を行なう項目のスイッチ(TBCモード設定部)を押すと、第2メニューが出力されます。

JOGダイヤルを回すとカーソルが左右に移動し、調整できます。

第2メニュー

TBC CONTROL NO. 1

1. VIDEO LEVEL

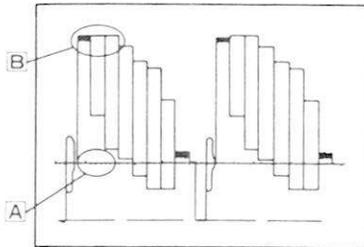


ノート ■TBC SET画面のメニューは、画面が停止していると調整することはできません。

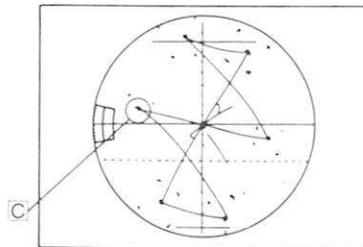
(3) 各項目を調整します。

ウェーブフォームモニタ (WFM)、ベクトルスコープ (VSC) が以下になるように、各項目を調整します。

■WFM上の波形



■VSC上の波形



A: ビデオレベル

100IREに調整します。

B: セットアップレベル

ズレをなくすように調整します。

C: クロマレベル

規定レベルになるように調整します。

ヒュー

VSCの玉マークに入るように調整します。

(4) YC DELAYの調整 (通常は調整不要です。)

再生されるテープのYC DELAYのズレ (色ズレ) に対して調整します。

1ステップで約70nsecの調整ができます。

(5) SYSTEM PHASEの調整

①P1 VTRで標準カラーバーを再生します。

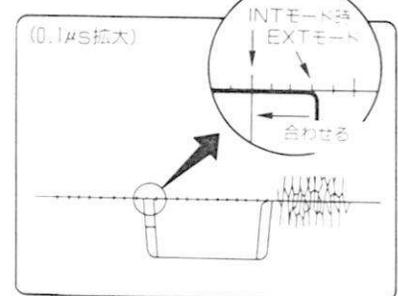
標準カラーバーについては、販売店にご相談ください。

②P1 VTRのSYSTEM PHASEを調整します。

ウェーブフォームモニタ (WFM) が以下になるように調整します。

- 1) WFMはINTモード。0.1 μ sに拡大します。
- 2) H SYNCの位置を確認します。
- 3) そのままWFMをEXTモードにします。
- 4) EXTモードにすると、先程のH SYNCの位置がずれる為、SYS PHASEつまみで先程の位置まで調整します。
(最初にHを調整します。次にSC COARSEで粗調整し、SC FINEで微調整をします。)
- 5) P2 VTRのSYS PHASEも同様に調整します。

■WFM上の波形



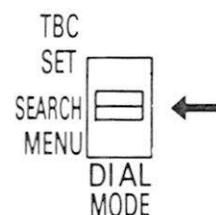
(SYNCの立ち下りに着目)

TBC(タイムベースコレクタ)部の調整(つづき)

メモ 各項目の調整の内容

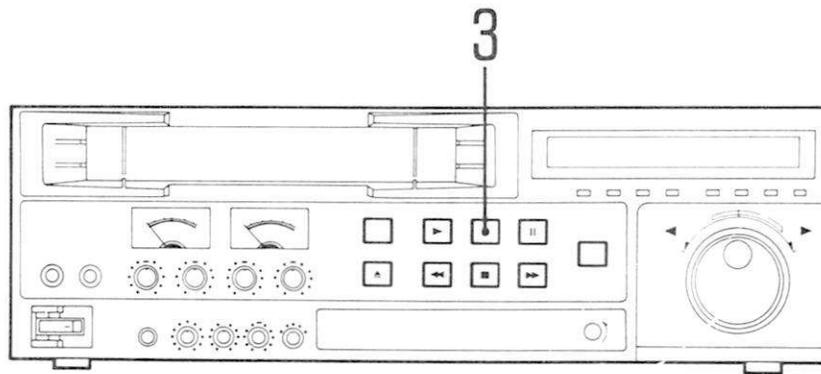
- VIDEO LEVEL : ビデオレベルを調整します。
- SET UP LEVEL : セットアップレベルを調整します。
- CHROMA LEVEL : クロマレベルを調整します。
- HUE LEVEL : ヒューレベルを調整します。
- YC DELAY : YCタイミングのずれを調整します。
- SYSTEM H PHASE : GEN LOCKのために外部から入力される外部基準信号に対し、内蔵のSYNC GENのH位相を調整します。
- SYSTEM SC PHASE : GEN LOCKのために外部から入力される外部基準信号に対し、内蔵のSC位相を調整します。
COARSE : 90°毎に4ステップ
FINE : 連続90°強の範囲
トータルで360°をカバーします。

4 TBCの調整後は、DIAL MODEスイッチを「SEARCH」に戻します。



- ノート
- 第1メニューが表示されているときにSEARCH(SET)ボタンを押すと、SYSTEM PHASE以外のすべての項目の設定値が初期設定に戻ります。
 - 第2メニューが表示されているときにSEARCH (SET) ボタンを押すと、その項目のみ、初期設定に戻ります。
 - TBCスイッチを「ON」に設定しているときには、垂直ブランキング期間の10ラインはマスク処理がON(固定)のみですので注意してください。(セットアップメニュー画面「V BLANKING SELECT」(項目NO.2008)参照)

編集操作を行う前に



編集とは、既に記録済のテープを使用して、別々の内容を一つにまとめたり、不必要な部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

編集モードには、アSEMBル編集とインサート編集の二つがありますが、実際に編集操作を行う前に、以下の操作を行ってください。

(本機単体での編集時は、CTL編集となりタイムコード編集は行えません。)

1 各種調整・設定を済ませます。(22~28ページ参照)

2 FRAME LOCKランプが次の状態で点灯するか確認してください。

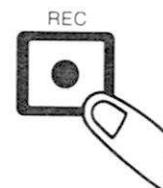
- (1) 編集したいテープを再生します。
- (2) ソース機側のTRACKING調整つまみで、TRACKINGメータが最大に振れるように調整します。
- (3) エディタ機側のTRACKING調整つまみを、中央のクリック点に合わせます。
- (4) エディタ機側のダイヤルメニュー機能の「FRAME SERVO」(項目NO.6005)を「ON」にします。
- (5) ソース機側のFRAMEランプが点灯していることを確認してください。
 - ランプが消灯している場合は、エディタ機側のダイヤルメニュー機能の「SYNC」(項目NO.1001)を「NORM」にしてください。
- (6) エディタ機側のFRAMEランプが点灯していることを確認してください。
 - FRAMEランプが消灯していると、編集画像が乱れる場合があります。

3 編集したい内容をモニタテレビで確認します。

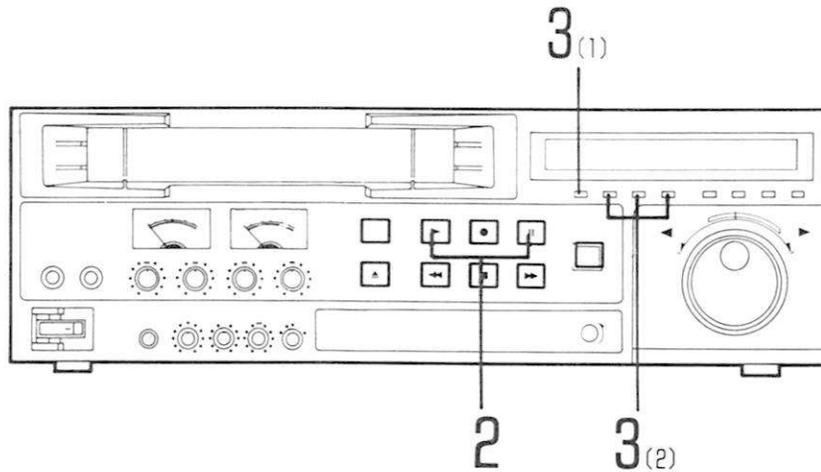
再生実行中にRECボタンを押します。

RECボタンを押している間、E-E系画像を見ることができます。
テープには記録されません。

- 誤消去防止用の折れたカセットが挿入されている場合は、E-E系画像を見ることはできません。



編集モードの選択 (AG-DS555のみ)



1 編集の準備をしてください。

詳しくは前ページの「編集操作を行う前に」を参照ください。

2 PLAY状態またはPLAY/STILL状態にしてください。

PLAYボタンまたはPAUSE/STILLボタンを押してください。



3 編集モードを選択します。

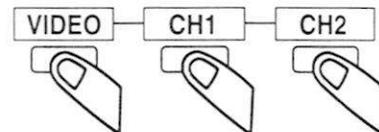
(1) アセンブル編集の場合

ASSEMBLEボタンを押します。
ボタンは一度押すと点灯し、再度押すと消灯します。

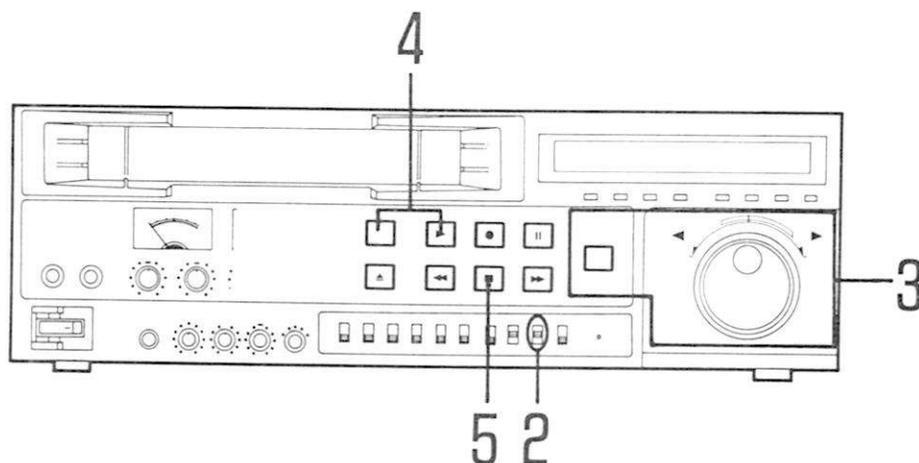


(2) インサート編集の場合

編集を希望するINSERT (VIDEO、AUDIO-CH1、AUDIO-CH2) ボタンを選択します。
ボタンは一度押すと点灯し、再度押すと消灯します。
点灯しているボタンの信号のみインサート編集されます。

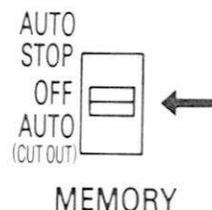


手動編集の実行 (AG-DS555のみ)

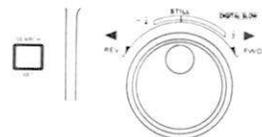


1 編集モードを選択してください。
詳しくは前ページの「編集モードの選択」を参照ください。

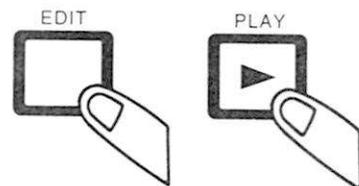
2 MEMORYスイッチを「OFF」にします。
「AUTO CUT OUT」側になっていると、カウンタディスプレイが「0:00:00:00」で編集はカットアウトされて停止してしまいます。



3 サーチ操作で編集開始点を探し、静止画にします。
サーチ操作の詳細な説明は19ページを参照ください。



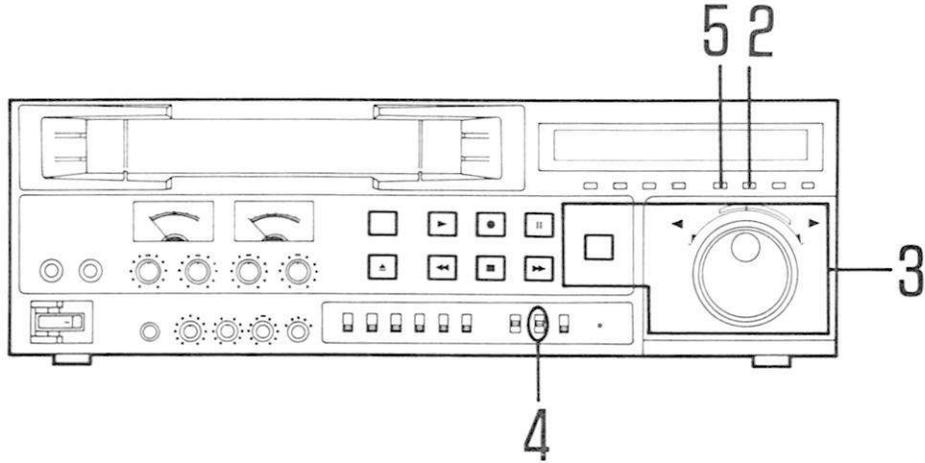
4 EDITボタンを押しながらPLAYボタンを押します。
約3秒間AUTO BACKし助走後、編集が開始されます。



5 STOPボタンを押すと編集が停止します。



AUTO CUT OUT編集(簡易自動編集) (AG-DS555のみ)

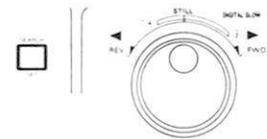


1 編集モードを選択してください。
詳しくは29ページの「編集モードの選択」を参照ください。

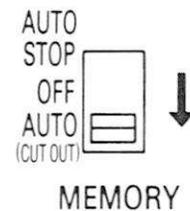
2 CTL/TC/UBボタンでCTLモードにします。
CTL/TC/UBボタンを押すたびに、機能表示ランプ部に「CTL」、「TC」、「UB」がくり返し表示されます。



3 サーチ操作で編集終了点を探し、静止画にします。
サーチ操作の詳細な説明は19ページを参照ください。

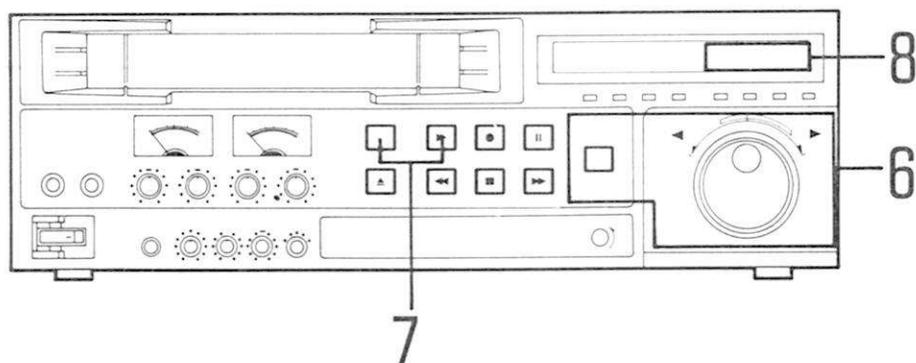


4 MEMORYスイッチを「AUTO (CUT OUT)」にします。

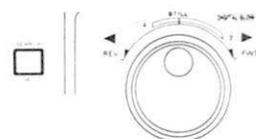


5 RESETボタンを押します。
テープカウンタが「0:00:00:00」にリセットされます。この点が編集終了点になります。

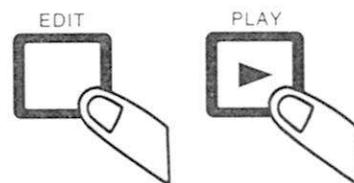




6 サーチ操作で編集開始点を探し、静止画にします。
 サーチ操作の詳細な説明は20ページを参照ください。



7 EDITボタンを押しながらPLAYボタンを押します。
 約3秒間AUTO BACKし助走後、編集が開始されます。



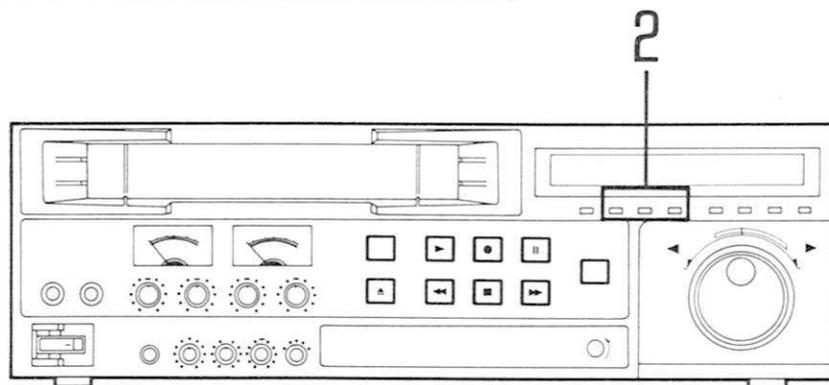
8 編集の終了
 テープカウンタが「0:00:00:00」になると、自動的に、編集がカットアウトされます。

■インサート編集の場合、自動的にカットアウト点付近に戻ります。



スプリット編集のしかた (AG-DS555のみ)

スプリット編集とは、インサート編集中に編集信号をかえることです。



1 インサート編集を実行します。

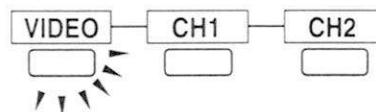
詳しくは30ページを参照ください。

2 編集信号を切り替えます。

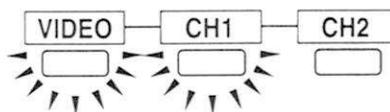
操作例

VIDEO/Hi-Fi信号をインサート編集中に、AUDIO CH1 音声を追加挿入する。

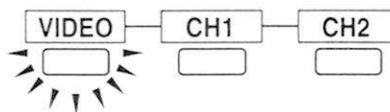
(1) VIDEO/Hi-Fi信号をインサート編集集中



(2) AUDIO CH1ボタンを押します。
AUDIO CH1 音声がインサート編集されます。



(3) 再度AUDIO CH1ボタンを押します。
AUDIO CH1 音声のインサート編集が終了します。



- ノート
- インサート編集中に、アSEMBル編集に切り替えることはできません。
 - アSEMBル編集中に、インサート編集に切り替えることはできません。
 - 約3秒間のAUTO BACK中と助走中は、編集信号を切り替えることはできません。

編集時のお知らせ (AG-DS555のみ)

- 編集モードを設定しないでEDIT STARTボタンを押すと、編集モードボタン (ASSEMBLE、VIDEO Hi-Fi、AUDIO CH1、AUDIO CH2) が6回点滅し、編集モードの選択を案内します。
- プリロールのため編集開始点前には、最低3秒間は記録済部分が必要です。
テープ始端からの編集はできません。
通常、コントロールのプリロール時間は5秒以上に設定してください。ただし調相編集を行わない場合は外部同期信号 (EXT) を用いることによりプリロール時間3秒での編集も可能となります。

アSEMBル編集時

- 編集終了点のあと、約2秒間は元の内容が消されてしまいますので、ご注意ください。

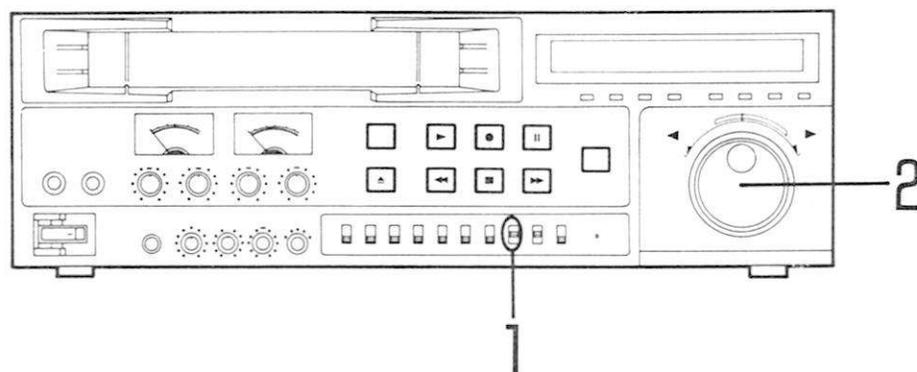
インサート編集時

- S-VHS方式で記録されているテープに、VHS方式でインサート編集すると、編集開始・終了点で画像が乱れます。
- コントロール信号を用いて、編集を行いますので、編集区間はテープの記録済部分内で設定してください。

EE画面

- NON V-FLOAT** : 外部同期信号とEE画面のV-SYNCの位置は一致し、映像の開始ラインがTBCなどの処理分遅れます。
 - V-FLOAT** : 外部同期信号とEE画面のV-SYNCの位置は一致しませんが、映像の開始ラインとV-SYNCの関係は正規となります。
- V-FLOAT時のEE画面は、垂直方向にわずかに動く場合があります。

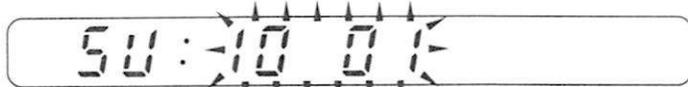
ダイヤルメニュー機能の操作



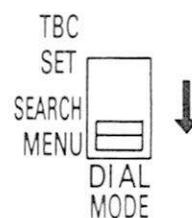
1 DIAL MODEスイッチを「MENU」にします。

- ダイヤルメニュー機能以外の操作はできなくなります。
(本機の動作は、ダイヤルメニュー機能が表示される以前のモードを保持します。)

ディスプレイの表示は以下ようになります。



MONITOR VIDEO端子に接続されているモニタに
SETUP-MENU画面が表示されます。



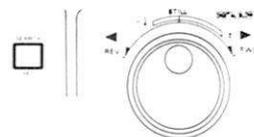
SETUP-MENU NO. 1001

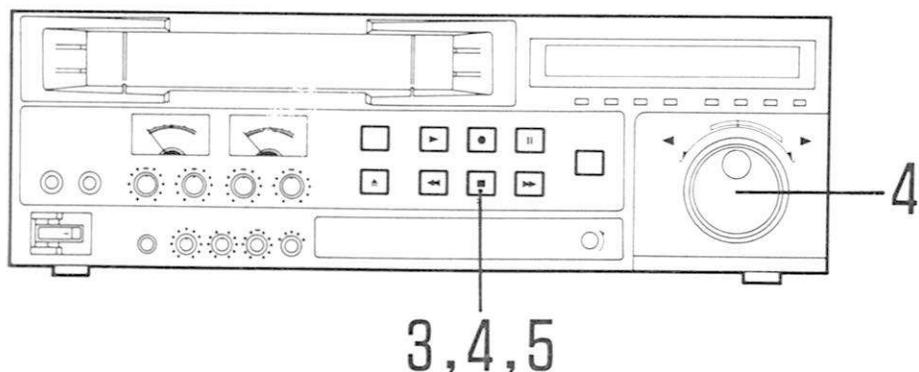
- 01 SYNC ←点滅
- 02 STILL TIME SELECT
- 03 TAPE PROTECTION
- 04 READY OFF MODE SELECT
- 05 DIRECT SEARCH
- 06 SHORT FF
- 07 AUTO REW

2 JOGダイヤルを回して、設定項目を探します。

右に回すとNO.が1001→1002→1003→・・・のように増加し、
左に回すと減少します。(選択されている項目が点滅表示されま
す。)

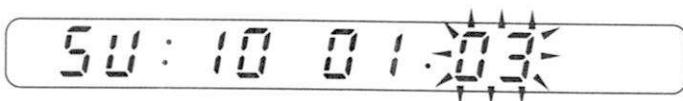
- ページ単位でメニューを切り替える場合は、FF (PAGE UP)、REW (PAGE DOWN) ボタンを押します。



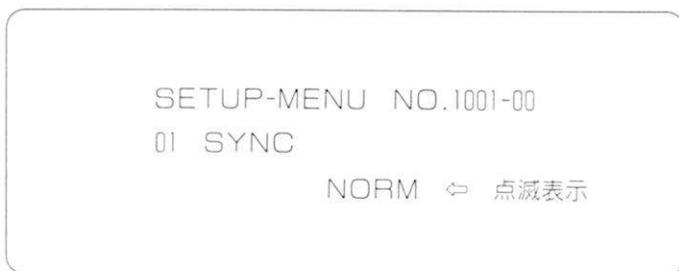


3 希望の項目でSTOP (DATA) ボタンを押します。

STOPボタンを押している間、セットアップ変更画面が表示されます。
ディスプレイの表示は以下ようになります。



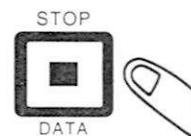
モニタの表示は以下ようになります。



4 STOP (DATA) ボタンを押しながら、JOGダイヤルを回します。
点滅表示が変わりますので、希望の値に設定してください。

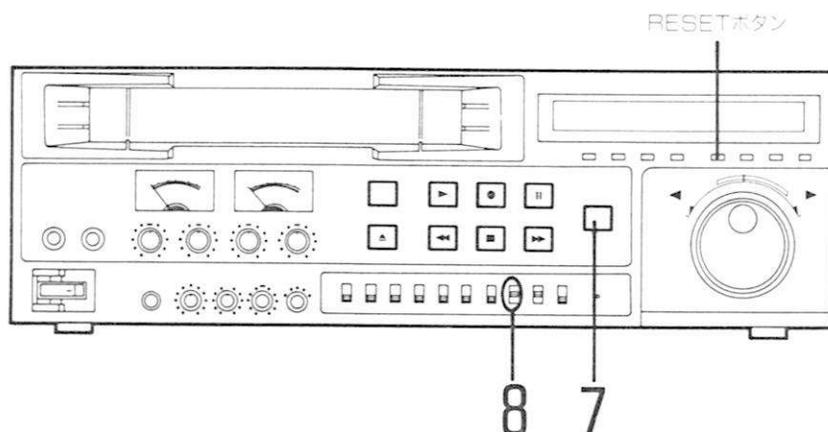


5 STOP (DATA) ボタンから指を離します。



ノート ■項目 NO.2008と7010、7011は設定方法が異なります。(47ページを参照ください。)

ダイヤルメニュー機能の操作(つづき)



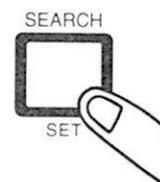
6 3～5の操作を繰り返します。

セットアップ変更を行いたい項目は、すべて希望の値に設定します。

7 設定終了後、SEARCH (SET) ボタンを押します。

セットアップ変更が確定され、以下のメッセージが表示されます。

[SETUP-MENU END]
SET TO SEARCH POS

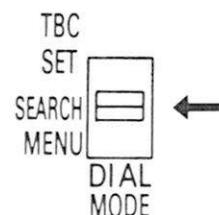


■ディスプレイ表示は通常のカウンタ表示に戻ります。

8 DIAL MODEスイッチを「SEARCH」に戻します。

通常の画面に戻ります。

■7の項でSETボタンを押さなくて、スイッチを「SEARCH」に戻すと、設定は無効になります。



ノート ■セットアップを初期設定（工場出荷時）に戻すには
SETUP-MENUが表示されているときに、RESETボタンを押します。以下のメッセージが表示されます。

SETUP-MENU INIT.SET
OK? (PUSH PLAY KEY)

PLAYボタンを押すと、初期設定に戻ります。

SETUP-MENU画面について

操作・機能関係のセットアップ

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
1001	SYNC	00 01	NORMAL EXT	同期信号を選択します。 00：入力映像信号に同期します。 01：外部同期信号に同期します。
1002	STILL TIME SELECT	00 01 02 03	2 SEC 30 SEC 1 MIN 5 MIN	STOP、STILLの状態では置かれたとき、テープ保護のために自動的にTAPE PROTECTION MODEになるまでの時間を選択します。設定後次回のSTOP、STILLより有効です。
1003	TAPE PROTECTION	00 01	READY OFF AUTO ADVANCE	TAPE PROTECTION MODE時の動作を選択します。設定後次回のTAPE PROTECTION MODEより有効です。 00：READY OFFモードになります。 01：STILL TIME SELECTで設定された時間を経過する度に約3フレーム送り、約30分を過ぎるとREADY OFFモードになります。
1004	READY OFF MODE SELECT	00 01 02	DRUM ROTATE DRUM STOP UNLOADING	READY OFF状態の動作を選択します。 00：テーブルージングでドラムが回転します。 01：テーブルージングでドラムは停止します。 02：アンローディングします。
1005	DIRECT SEARCH	00 01	OFF ON	ダイレクトサーチモードを設定します。 00：サーチボタンを押すとサーチモードになります。 01：サーチボタンを押さなくても、サーチダイヤルを操作すると、自動的にサーチモードになります。
1006	SHORT FF	00 01	OFF ON	テープ始端でのショートFF機能を設定します。 00：ショートFF動作を行いません。 01：ショートFF動作を行います。
1007	AUTO REW	00 01	OFF ON	テープ終端でのオートリワインド機能を設定します。 00：テープ終端になると、停止します。 01：テープ終端になると、自動的にテープ始端まで巻き戻して停止します。
1008	AUTO BACK (AG-DS555のみ)	00 01	OFF ON	オートバックスペース録画機能の設定をします。 00：通常のREC/PAUSE動作を行います。 01：PLAY/PAUSEモード中にRECボタンを押すか記録中にPAUSE/STILLボタンを押すと、テープが約3秒間巻き戻されて待機します。その後、PAUSE/STILLボタンを押すと3秒間再生動作を行ってから記録が開始されます。

は初期設定を示します。

SETUP-MENU画面について(つづき)

映像関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
E001	IMAGE MODE SELECT	00 01	NORMAL EDIT	00：通常使用時に選択します。輝度信号と色信号のノイズキャンセラーとCAC機能が動作します。 01：編集時に選択します。
E002	VIDEO MODE	00 01	AUTO B/W	入力ビデオ信号のカラーモードを選択します。 00：入力信号により自動的に、カラー、白黒モードを判断します。 01：強制的に白黒モードになります。
E004	PB/EE SELECT	00 01	PB/EE EE	STOPモード時、モニタに映し出される画像の設定を行います。 00：再生画像が映し出されます。 01：EE画像が映し出されます。
E005	WIDE MODE SELECT	00 01 02	AUTO WIDE NORMAL	WIDE IDに対するVTRの動作を設定します。 00：記録時、入力信号にWIDE情報があるとテープにWIDE IDを記録します。 再生時、テープにWIDE IDがあるとY/C出力信号にWIDE情報を付けます。 01：Y/C出力信号にWIDE情報を付け、記録時、テープにWIDE IDを記録します。 02：WIDE情報を受け付けません。
E006	S-VHS REC (AG-DS555のみ)	00 01	OFF ON	記録方式を選択します。 00：VHS方式で記録されます。 01：S-VHS方式で記録されます。(ただし、S-VHSテープ使用時のみ)
E007	HSW BLANKING SELECT	00 01	OFF ON	再生時、SWITCHING部分のマスキング処理を行うか設定します。
E008	V BLANKING SELECT	11 12 13 14 15 16 17 18 19	OFF/ON OFF/ON OFF/ON OFF/ON OFF/ON OFF/ON OFF/ON OFF/ON OFF/ON	再生時、入力信号の垂直ブランキング期間のマスク処理を行うか各ラインごとに設定します。 11：11_LINE 17：17_LINE 12：12_LINE 18：18_LINE 13：13_LINE 19：19_LINE 14：14_LINE (10：固定) 15：15_LINE 16：16_LINE

は初期設定を示します。

映像関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
2010	DOC SELECT	00 01	3LINE-3D 3D ONLY	DOCを選択します。 00：3Hまでを2次元DOC、それ以上を3次元DOC 01：3次元DOC（フィールドDOC）
2011	FREEZE AT READY OFF	00 01	OFF ON	READY OFFしたときに画面をフリーズするか選択します。 00：フリーズしません。 01：フリーズします。
2012	FREEZE AT STOP	00 01	OFF ON	PLAYからSTOPしたときに画面をフリーズするか選択します。 00：フリーズしません。 01：フリーズします。
2013	Y-DNR LEVEL SELECT	00 01 02	OFF LEVEL 1 LEVEL 2	輝度信号に対するDNRのレベルを設定します。 00：輝度信号にDNR処理しません。 01：輝度信号にレベル1のDNR処理をします。 02：輝度信号にレベル2のDNR処理をします。
2014	C-DNR LEVEL SELECT	00 01 02	OFF LEVEL 1 LEVEL 2	色信号に対するDNRのレベルを設定します。 00：色信号にDNR処理しません。 01：色信号にレベル1のDNR処理をします。 02：色信号にレベル2のDNR処理をします。
2015	TBC REMOTE	00 01	LOCAL REMOTE	TBCの調整モードを選択します。 00：TBC SET中で調整します。 01：外部からのリモートコントロールになります。
2019	TBC CONTROL SELECT	00 01	V-FLOAT NO V-FLOAT	リファレンス信号にHを合わせ、入力信号にVを合わせるように、内部SYNCをフロートさせます。 00：フロートさせます。 01：フロートさせません。

は初期設定を示します。

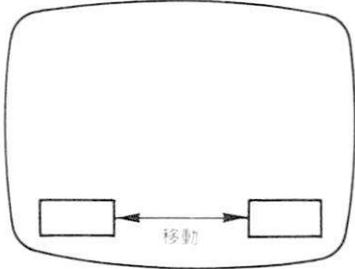
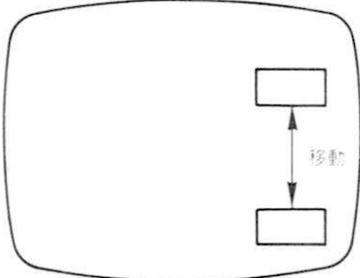
SETUP-MENU画面について(つづき)

音声関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
3001	DOLBY NR	00 01	OFF ON	DOLBY NRシステムを設定します。 00 : DOLEBY NR OFF 01 : DOLEBY NR ON
3002	AUDIO LIMITER (AG-DS555のみ)	00 01	OFF ON	AUDIO LIMITER機能を設定します。 00 : ダイナミックな音量がそのまま録音されます。 01 : 記録時に一時的に過大入力があっても、自動音声制限回路が働き歪の無い録音が行えます。 (この機能はノーマル音声のみ有効です。)
3003	HI-FI REC (AG-DS555のみ)	00 01	OFF ON	HI-FI音声の記録を設定します。 00 : ノーマル音声のみを記録し、HI-FI音声を記録しません。 01 : HI-FI音声、ノーマル音声ともに記録します。
3004	HI-FI INPUT SELECT (AG-DS555のみ)	00 01	HI-FI INPUT NORMAL INPUT	HI-FI音声記録時の入力の選択を行います。 00 : HI-FIチャンネルにHI-FI入力端子の音声を記録します。 01 : HI-FIチャンネルにNORM/HI-FI入力端子の音声を記録します。
3005	CH1 REC (AG-DS555のみ)	00 01	CH1 MIX	ノーマル音声CH1記録時の入力切り換えを行います。 00 : CH1音声を記録します。 01 : CH1、CH2をMIXした音声を記録します。
3006	AUDIO CH2	00 01	AUDIO LTC	ノーマル音声CH2の切り換えを行います。 00 : CH2をAUDIOとして使用します。 01 : CH2をLTCトラックとして使用します。

は初期設定を示します。

スーパーインポーズ関係のセットアップ

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
4001	CHARACTER BACKGROUND	00 01	スーパー表示をみながら 選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示 のバックランド状態を選択します。 00：ブラック表示=LTCR 00：00：00：00 01：ふちどり表示=LTCR 00：00：00：00
4002	CHARACTER H-POSITION	00 01 02 03 04 05 06 07	スーパー表示を見ながら 選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示 の水平方向位置を選択します。NO.を大きく するに従って右方向へ移動します。 
4003	CHARACTER V-POSITION	00 01 02 03 04 05 06 07	スーパー表示を見ながら 選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示 の垂直方向位置を選択します。NO.を大きく するに従って下方向へ移動します。 
4004	STATUS SUPER	00 01	OFF ON	スーパー表示にVTRの動作モードを表示する か選択します。 00：表示しません。 01：表示します。

は初期設定（工場出荷時）を示します。

SETUP-MENU画面について(つづき)

リモート関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
5001	EJECT/STOP FNCTN REM.	00 01	POSSIBLE NOT POSSIBLE	REMOTE モード時、パネル部の EJECT/STOPボタンの動作を設定しま す。 00：動作可能 01：動作不能
5002	9P DEVICE TYPE SELECT ※9Pリモート端子取付時のみ表示	00 01	OTHER TYPES S-VHS ID	9PのDEVICE TYPE REQUEST COMMANDに対して返信するID CODE を選択します。 00：松下製以外のコントローラを接続する場 合 01：松下製のコントローラを接続する場合
5003	9P FF/REW MODE ※9Pリモート端子取付時のみ表示	00 01	LOADING UNLOADING	9PのFF/REW COMMANDに対する VTRの動作を選択します。 00：ローディング状態のままFF/REWしま す。 01：アンローディングしてFF/REWします。
5004	34P SHTL MAX SPEED ※34Pリモート端子(AG-IA834) 取付時のみ表示	00 01	*10 *20	34Pコントローラで制御時のシャトルの最高ス ピードを選択します。 00：10倍速 01：20倍速
5005	34P CONTROLLER TYPE ※34Pリモート端子(AG-IA834) 取付時のみ表示	00 01	TYPE-1 A750 A770 A800 TYPE-2 A650 A500 A505	接続する34Pコントローラの機種を選択します。 00：AG-A750、AG-A770、AG-A800 01：AG-A650、NV-A500、NV-A505

は初期設定（工場出荷時）を示します。

編集関係のセットアップ

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
6001	DROP/NON-DROP FRAME	00	NON-DROP FRAME	タイムコードまたはコントロール信号に対しての時間ズレ補正を設定します。 00：ノンドロップフレーム処理で、時間ズレ補正を行わず、30フレームで1秒として演算します。 01：ドロップフレーム処理で、カラー同期と実時間のズレを補正します。0、10、20、30、40、50を除く毎正分の開始から2フレーム（.00.01）をスキップします。
		01	DROP FRAME	
6002	AUTO PREROLL ENTRY	00	NOT ENTERED	IN点の登録されていないとき、プリロールコマンドによりIN点を登録するか選択します。 00：登録しません。 01：登録します。
		01	ENTERED	
6003	PREROLL TIME	00	0 SEC	9P制御のプリロールタイムを0秒から15秒まで選択します。
		01	1 SEC	
		∴	∴	
		04	4 SEC	
		05	5 SEC	
		06	6 SEC	
		∴	∴	
		10	10 SEC	
		∴	∴	
		15	15 SEC	
6004	PLAY DELAY	00	0 FRAME	PLAY動作開始時のPLAY DELAY時間を0フレームから15フレームまで選択します。
		01	1 FRAME	
		∴	∴	
		05	5 FRAME	
		∴	∴	
		10	10 FRAME	
		∴	∴	
		15	15 FRAME	
6005	FRAME SERVO	00	OFF	フレーミングモードを設定します。 00：EIAスタンダード信号（RS-170）に適合しない信号が入力される場合は、この位置にします。フレーミングは行われません。 01：EIAスタンダード信号（RS-170）に適合する信号を入力する場合はこの位置にすると、フレーミングが行われます。
		01	ON	

は初期設定（工場出荷時）を示します。

SETUP-MENU画面について(つづき)

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
7001	TC INT/EXT SELECT (AG-DS555のみ)	00 01	INT EXT	外部にタイムコードを接続したときはEXTに します。
7002	TC MODE (AG-DS555のみ)	00 01 02	REGEN REC RUN FREE RUN	TCのモードを選択します。 00：テープ上のデータと連続性を保つように 動作します。 01：内部のプリセット値を用い、記録時のみ 歩進します。 02：内部のプリセット値を用い、常時歩進し ます。
7003	VITC REC (AG-DS555のみ)	00 01	OFF ON	VITCの記録を行うか否かを選択します。 00：行わない。 01：行う。
7004	VITC POSITION SEL-1 (AG-DS555のみ)	00 01 : 05 06 07 08 09	10 LINE 11 LINE : 15 LINE 16 LINE 17 LINE 18 LINE 19 LINE	VITC信号の挿入ラインを選択します。 *NO.7005と同じラインは選択できません。 (隣接したラインを選択することもさしてくだ さい。)
7005	VITC POSITION SEL-2 (AG-DS555のみ)	00 01 : 07 08 09	10 LINE 11 LINE : 17 LINE 18 LINE 19 LINE	VITC信号の挿入ラインを選択します。 *NO.7004と同じラインは選択できません。 (隣接したラインを選択することもさしてくだ さい。)
7006	VITC REGEN (AG-DS555のみ)	00 01	PLAY PLAY+REC	VITCのREGEN処理動作を選択します。 00：PLAY時にREGEN処理を行います。 01：PLAY及びオーディオの記録時に REGEN処理を行います。
7007	TCG REGEN MODE (AG-DS555のみ)	00 01 02	TC*UB TC UB	TCGがREGENモード時、REGENする 信号を選択します。 00：タイムコード、ユーザズビットともに REGENします。 01：タイムコードのみREGENします。 02：ユーザズビットのみREGENします。
7008	TC OUT SIGNAL REGEN	00 01	OFF TAPE REGEN	INTERNAL REGENモードの時、TIME CODE OUT端子から出力される波形を設 定します。 00：再生信号をそのまま出力します。 01：SERVO LOCK時のみ、再生信号を REGENして出力します。
7009	UB BINARY GROUP FLAG	00 01 02 03	NOT SPECIFIED ISO CHARACTER UNASSIGNED 1 UNASSIGNED 2	TCGで発生するユーザズビット使用状態を 選択します。 00：キャラクタセットを指定しません。 01：ISO646、ISO2022に準拠した8-BITキ ャラクタセットです。 02/03：未定義

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
7010	TIME CODE PRESET (AG-DS555のみ)	00	画面を見ながらTCGのプリセットを設定します。	タイムコードジェネレータのプリセット値を設定します。 00:00:00:00~23:59:59:29 初期値は現在のタイムコード値。
7011	U-BIT PRESET (AG-DS555のみ)	00	画面を見ながらUBGのプリセットを設定します。	ユーザビットのプリセット値を設定します。 00:00:00:00~FF:FF:FF:FF 初期値は現在のユーザビット値。
7012	EXT VITC READ (AG-DS555のみ)	00 01	REC EJECT+STOP+ REC	入力ビデオ信号のVITCを読むモードを選択します。 00:REC時のみVITCを読みます。 01:EJECT、STOP、REC時にVITCを読みます。
7013	9P VITC TO DUMMY LTC ※9Pリモート端子取付時のみ表示	00 01	OFF ON	9PでのCURRENT TIME SENSEに対して、CH2: AUDIOの場合の返答を選択します。 00:REQUEST TIME DATA MISSINGを返答します。 01:VITCデータをLTCとして返答します。
7014	9P INTERPOLATED VITC ※9Pリモート端子取付時のみ表示	00 01	HOLD VITC INTERPOLATED LTC	9PでのCURRENT TIME SENSEに対して、VITCのCTL補間値を返答する場合の返答方法を選択します。 00:HOLD_VITC (74H 16H) で返答します。 01:INTERPOLATED_LTC (74H 14H) で返答します。

は初期設定（工場出荷時）を示します。

2008/7010/7011の設定方法

1. 項目NO.2008、7010または7011に合わせて、STOPボタンを押します。
2. JOGダイヤルを回して、変更桁（点滅表示）を移動させます。
3. STOPボタンを押しながら、JOGダイヤルを回すと、NO.2008はON/OFFが切り替わり、NO.7010と7011は値が変わります。
4. 設定終了後は、SEARCH (SET) ボタンを押します。

■項目NO.7010と7011の初期値は現在のタイムコード値が表示されます。(AG-DS555のみ)

RESETボタンを押すと、00:00:00:00にリセットされます。

■ダイヤルメニュー機能の「TC INT/EXT SELECT」(項目NO.7001)を「INT」および「TC MODE」(項目NO.7002)を「REC RUN」または「FREE RUN」に設定していないと項目NO.7010と7011は操作できません。(AG-DS555のみ)

■項目NO.2008/7010/7011は、その設定モードに一度入ると、その項目以外の設定モードにもどることができません。設定終了後SEARCH(SET)ボタンを押す事によって、それ以前に設定された項目については、変更が確定されますが、SETボタンを押さずにスイッチを「SEARCH」に戻すと、以前の設定も無効になります。

タイムコード/ユーザズビットについて

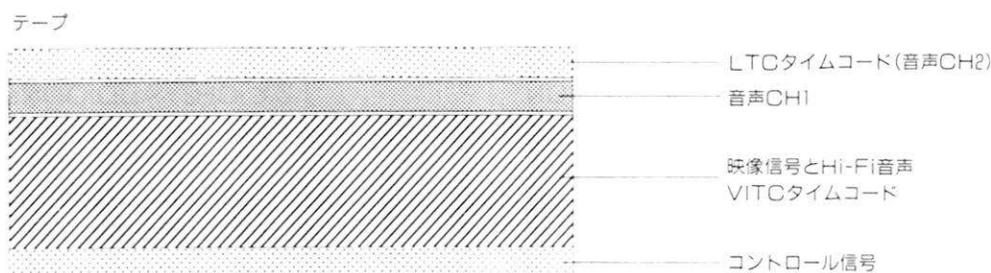
タイムコード

タイムコードとは、タイムコードジェネレータ（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー（タイムコード信号読取器）で、その値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレーム単位で表示するときに使用します。テープの絶対位置が分かると、正確な編集や素早いサーチ操作を行うことができます。

タイムコードには、LTC (Longitudinal Time Code) とVITC (Vertical Interval Time Code) の二つのタイプがあります。

LTCは、テープ上のノーマル音声CH2用のトラックに記録されます。テープ上の位置情報とユーザズビット情報を記録することができます。

VITCは、映像信号の垂直ブランキング区間に記録されますので、ノーマル音声CH2用のトラックを使用しなくても、テープ上の位置情報とユーザズビット情報を記録することができます。



タイムコードの値は、ディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

LTCR	00	:	07	:	04	:	24
タイムコードモード	時		分		秒		フレーム

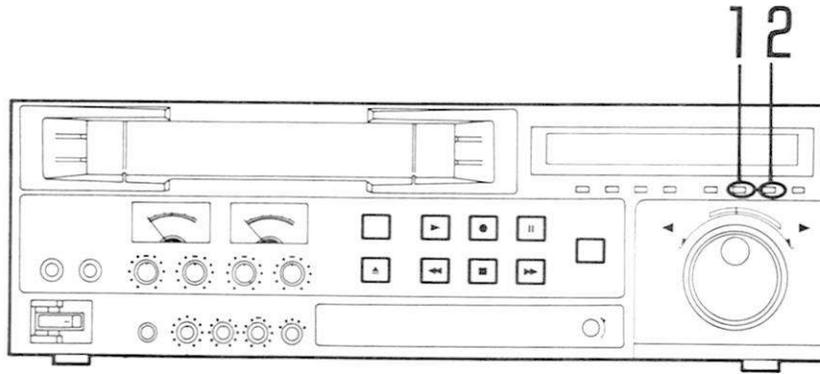
ユーザズビット

ユーザズビットとは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録させることができます。

LUBR AB CD EF 88

ユーザズビットで使える文字は、0~9とA,B,C,D,E,Fの16文字です。
(カウンタディスプレイには、BとDは小文字で表示されます。)

タイムコード関係のスイッチ設定



1 CTL/TC/UBボタン

ディスプレイに表示されるタイムコードモードを切り替えます。ボタンを押すたびに、設定されるモードが機能表示ランプ部に点灯します。

CTL : CTL (コントロール) 信号の値が表示されます。

TC : タイムコード値が表示されます。

UB : ユーザーズビット値が表示されます。

CTL/TC/UB

2 LTC/AUTO/VITCボタンの設定

タイムコードの読み取りモードを切り替えます。

ボタンを押すたびに、設定されるモードが機能表示ランプ部に点灯します。

LTC : リニアトラックCH2に記録されているLTCのタイムコード信号を読み取ります。

AUTO : スロー時にはVITCを優先的に、その他はLTCを優先的に読み取ります。

VITC : VITCだけ読み取ります。

LTC/AUTO/VITC

3 ダイヤルメニュー機能での設定

ダイヤルメニュー機能項目NO.7001~7009でタイムコード関係のセットアップを行えます。(46, 47ページ参照)

ダイヤルメニュー機能項目NO.7010~7011でタイムコード/ユーザーズビットのプリセット値を設定できます。

タイムコード/ユーザースビットの記録(AG-DS555のみ)

1 任意（プリセット）のタイムコード/ユーザースビットを記録する場合

- (1) ダイヤルメニュー機能の「TC INT/EXT SELECT」(項目NO.7001)の設定⇒「INT」(46ページ参照)
- (2) ダイヤルメニュー機能の「TC MODE」(項目NO.7002)の設定⇒「REC RUN」(46ページ参照)
- (3) ダイヤルメニュー機能項目NO.7010または7011でプリセット値を設定します。(47ページ参照)
 - LTCタイムコードを記録しない場合は、ダイヤルメニュー機能の「AUDIO CH2」(項目NO.3006)を「AUDIO」にします。(42ページ参照)
 - VITCタイムコードを記録しない場合は、ダイヤルメニュー機能の「VITC REC」(項目NO.7003)を「OFF」にしてください。(46ページ参照)

2 編集テープ上に連続したタイムコードを記録する場合

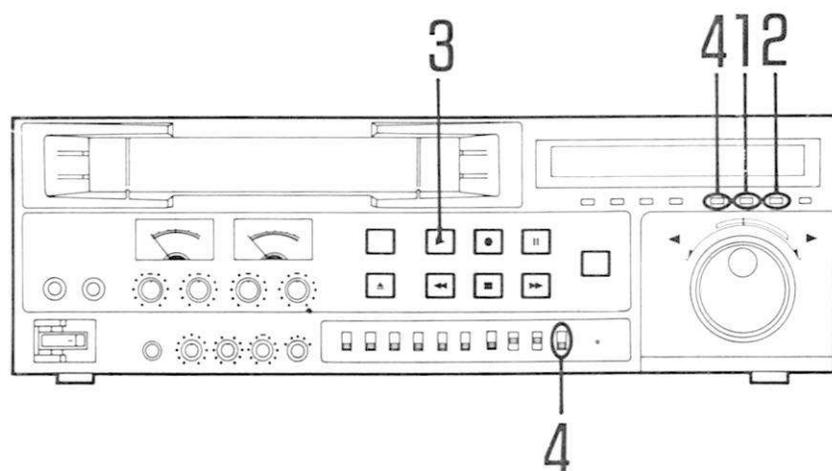
- (1) ダイヤルメニュー機能の「TC INT/EXT SELECT」(項目NO.7001)の設定⇒「INT」(46ページ参照)
- (2) ダイヤルメニュー機能の「TC MODE」(項目NO.7002)の設定⇒「REGEN」(46ページ参照)
 - LTCタイムコードを記録しない場合は、ダイヤルメニュー機能の「AUDIO CH2」(項目NO.3006)を「AUDIO」にします。(42ページ参照)
 - VITCタイムコードを記録しない場合は、ダイヤルメニュー機能の「VITC REC」(項目NO.7003)を「OFF」にしてください。(46ページ参照)

3 テープ上に記録されているLTCをダビングする場合

(以下の設定でダビングすると、LTCのタイムコード信号の劣化を防ぐことができます。)

- (1) LTC/AUTO/VITCボタンの設定⇒「LTC」(49ページ参照)
- (2) CTL/TC/UBボタンの設定⇒「TC」(49ページ参照)
- (3) ダイヤルメニュー機能「TC MODE」(項目NO.7002)の設定⇒「REGEN」(46ページ参照)
- (4) ダイヤルメニュー機能「TC OUT SIGNAL REGEN」(項目NO.7008)⇒「REGEN」(46ページ参照)
 - この設定は、ダビング時のみの設定ですので、編集時には設定しないでください。

タイムコード/ユーザズビットの再生



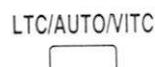
1 CTL/TC/UBボタンで「TC」または「UB」に設定します。

TC : タイムコードを再生します。
 UB : ユーザズビットを再生します。



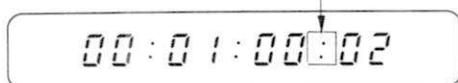
2 LTC/AUTO/VITCボタンの設定を行います。

LTC : リニアトラックCH2に記録されているタイムコード信号を読み取ります。
 AUTO : スロー時はVITCを優先的に、その他はLTCを優先的に読み取ります。
 VITC : VITCだけを読み取ります。
 ■各モード共、タイムコードが読み取れなくなった場合はCTL信号で補間します。



3 PLAYボタンを押します。

ディスプレイ表示

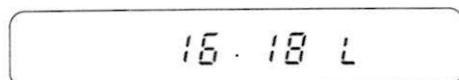


- (ドロップフレーム)
- (ノンドロップフレーム)
- (CTL信号で補間中)

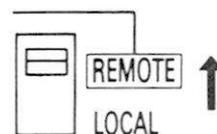


4 PLAY中にVITCの挿入ラインを確認する場合。CONTROLスイッチを「REMOTE」にし、RESETボタンを押します。

ディスプレイ表示



(VITCが16、18ラインに挿入されている場合)



CONTROL

RESET



スーパーインポーズ画面について

ON SCREENボタンを押すと、VIDEO MONITOR端子から出力される信号に、以下のようなスーパーインポーズ信号が付加されます。

- ダイヤルメニューモード中はスーパーインポーズ表示はされません。



ブロック 1

タイムコードモードを以下の略称文字で表示します。

■AG-DS555/AG-DS545

CTL : コントロール信号
LUBR : LTCユーザーズビットの再生値
VUBR : VITCユーザーズビットの再生値
LTCR : LTCタイムコードの再生値
VTCT : VITCタイムコードの再生値

■AG-DS555のみ

TCG : タイムコードジェネレータ値
VUBG : VITCユーザーズビットのジェネレータ値
ETCG : 外部タイムコードジェネレータ値
LUBG : LTCユーザーズビットのジェネレータ値
EUBG : 外部ユーザーズビットのジェネレータ値

ブロック 2

タイムコード値を時:分:秒:フレームで表示します。(UB時には、コロンを表示しません。)

12 : 34 : 43 : 21

↑
(:) = ノンドロップフレームモード
(.) = ドロップフレームモード
() = タイムコード読み取り不可能

ブロック 3

VTRの動作モードを以下のように表示します。

■AG-DS555/AG-DS545

EJECT (イジェクト)
PLAY (再生)
STOP (停止)
FF (早送り)
REW (巻戻し)
STILL (一時停止)
READY-OFF (レディーモード解除)

■AG-DS555のみ

REC (記録)
EDIT (編集)
EPLY (エディットプレイ)

スーパーインポーズ画面について(つづき)



ブロック 3 (つづき)

サーチ速度も表示します。

JOG xxxxx (ジョグ)

SHTL xxxxx (シャトル)



xxxxxx 部分は、サーチ速度を表示します。

1/25 ← テープ速度 (この場合ノーマル再生に対して1/25の速さで逆方向にサーチ)



* : 正方向 / - : 逆方向

再生中に記録部分が終ると、下の表示が点滅し、画像がフリーズになります。

FREEZE

ブロック 4

エディットモードを以下のように表示します。

ASM (アセンブル編集)

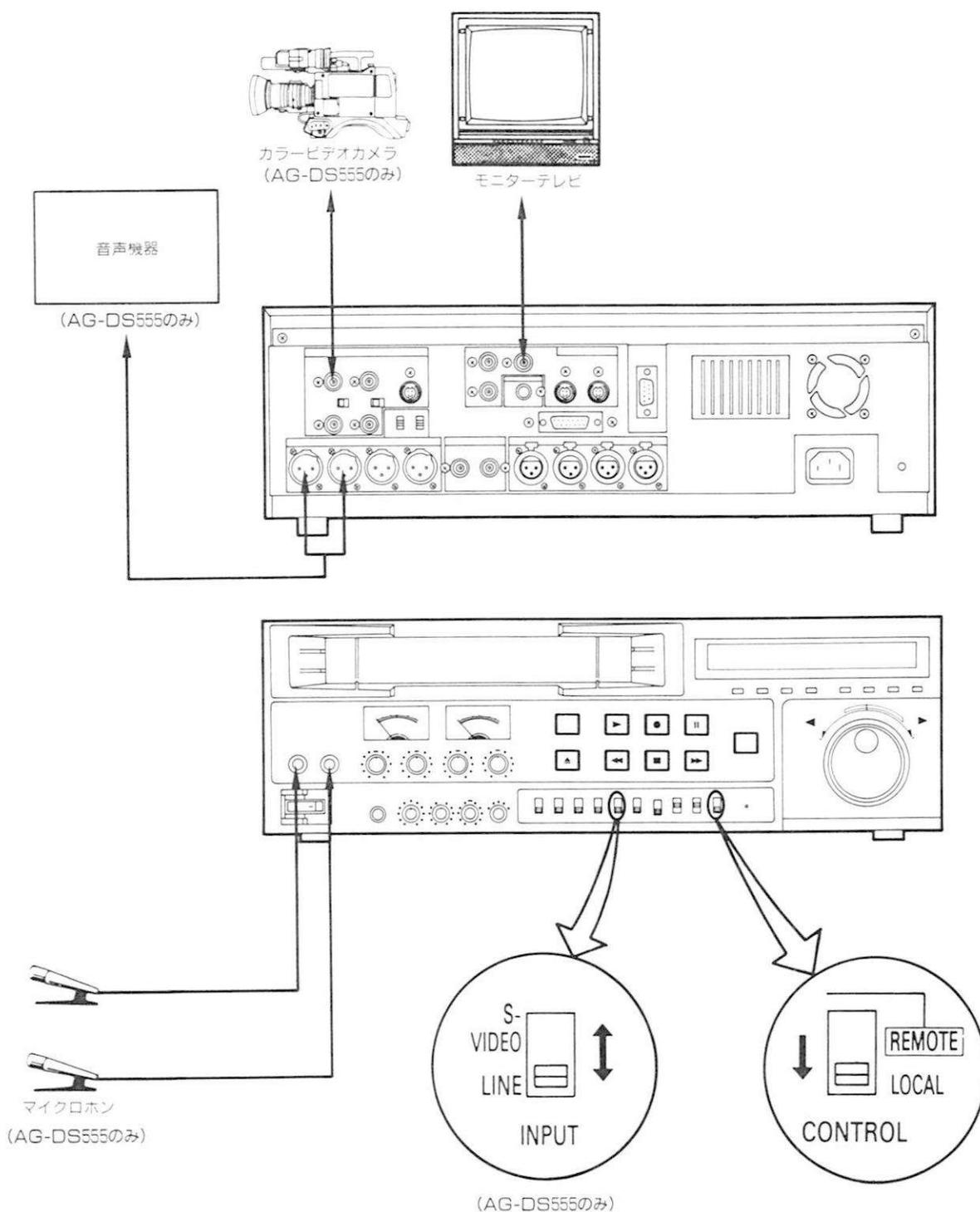
V1 ? (インサート編集) : VIDEO、AUDIO-CH1、AUDIO-CH2

ノート ■ブロック3、ブロック4およびワイドの表示は、ダイヤルメニュー機能の「STATUS SUPER」(項目NO.4004)を「ON」に設定したときだけ表示されます。

- 参考**
- ダイヤルメニュー機能(項目NO.4001)で、スーパーインポーズのバックグラウンドの状態を変えることができます。(43ページ参照)
 - ダイヤルメニュー機能(項目NO.4002、4003)で、スーパーインポーズの表示位置を移動させることができます。(43ページ参照)

基本システムの接続

- 本機一台で、編集(AG-DS555)/再生(AG-DS545)を行なう場合の接続です。
- CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしてください。
- ダイヤルメニュー機能の「SYNC」(項目NO.1001)を「NORM」に設定してください。
(ただし、LTCのタイムコードにより編集をする場合は、「LTC」にします。)
- ダイヤルメニュー機能の「AUDIO CH2」(項目NO.3006)を「AUDIO」に設定してください。

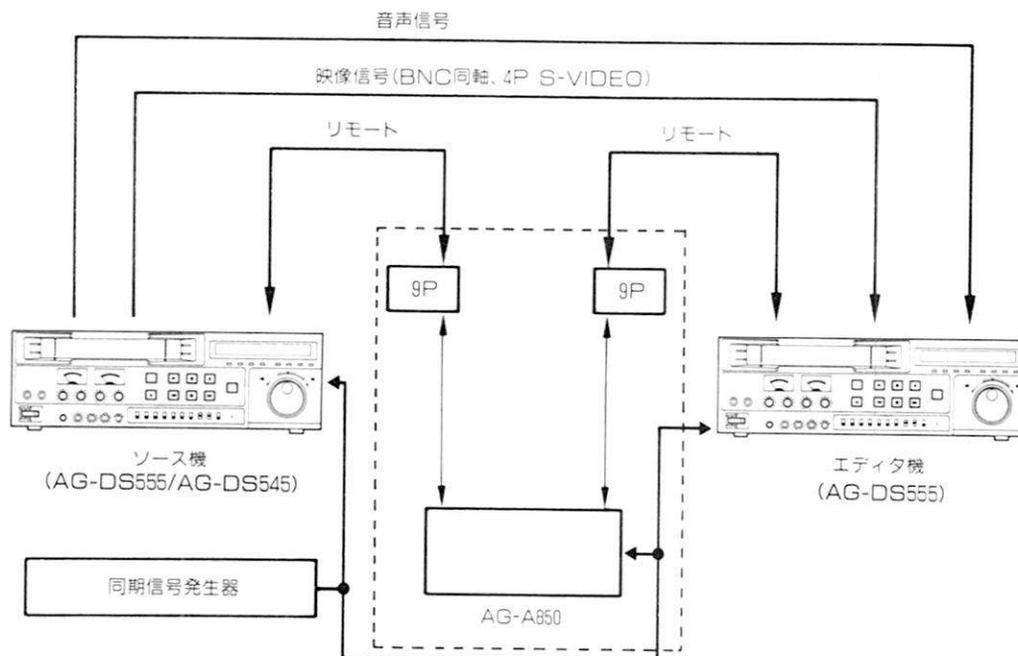


9P編集コントローラを使ったシステム

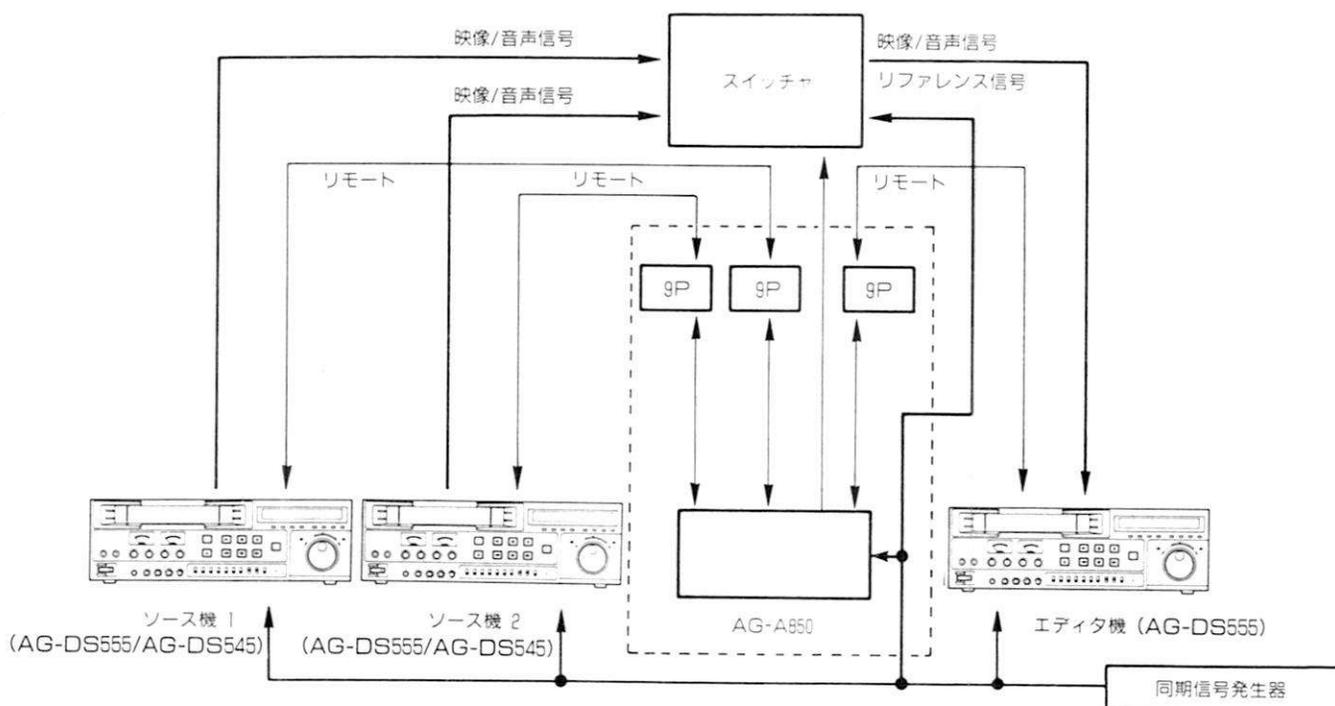
9P編集コントローラ（別売品）を使ってタイムコード編集を行うと、編集誤差のほとんどない精度の高い編集が可能です。

また、本機にはTBCが内蔵されていますので、システム編集時にTBCのめんどろな配線をする必要がありません。

エディタ機とソース機を1台ずつ使用したシステム



エディタ機1台とソース機を2台使用したシステム (ABロール編集が行えます。)



9P編集コントローラを使ったシステム(つづき)

1 編集コントローラを接続します。

- REMOTE (9ピン) 端子の接続をします。
- 音声信号の接続をします。
- 映像信号の接続をします。
- リファレンス信号の接続をします。

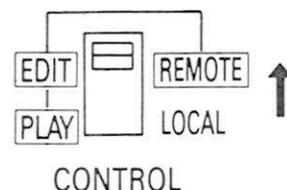
2 9P DEVICE TYPE SELECT (項目NO.5002) を設定します。

ダイヤルメニュー機能で設定します。

OTHER TYPES (セットアップNO.00) : 松下製以外のコントローラを使用する場合

S-VHS ID (セットアップNO.01) : 松下製のコントローラを使用する場合

3 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。



4 編集コントローラ側で本機を操作します。

編集コントローラ側の操作説明は、各編集コントローラの取扱説明書をご覧ください。

- ノート
- 9P編集コントローラの編集タイミングを8フレームに設定してください。
 - カラーフレーミング機能のついた編集コントローラを使用する場合は、カラーフレーミングモードの設定をしないでください。
 - 9P編集システムでファーストエディット操作を行う場合、ダイヤルメニュー機能(項目NO.1006)「SHORT FF」が「ON」でないと行うことができません。
 - 9P編集システムでのインサート編集時の編集チャンネルはタイムコードとオーディオが独立して設定することができますが、本機の場合、リニアトラックCH2をタイムコード(LTC)とノーマルオーディオCH2で共用しているため、ダイヤルメニュー機能(項目NO.3006)「AUDIO CH2」でどちらの信号を編集するかを間違い無く選択してください。
 - タイムコード編集を行う場合は、ダイヤルメニュー機能(項目NO.7001)「TC INT/EXT SELECT」を「INT」に設定してください。(AG-DS555のみ)
 - 9P編集システムを使用した場合、FF/REWはダイヤルメニュー機能(項目NO.5003)「9P FF/REW MODE」でフルローディングFF/REWとシアンローディングFF/REWの選択ができます。
 - ABロール編集にて、長時間のシーンの編集を行う場合のみ、ダイヤルメニュー機能(項目NO.1003)「TAPE PROTECTION」を「AUTO ADVANCE」に設定してください。

ダビング接続

本機2台で編集を行う場合の接続です。

ダビング接続で画質の良い順番は以下のとおりです。

1.S-VIDEOケーブル使用

2.BNCケーブル使用

■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしてください。

■ダイヤルメニュー機能の「AUDIO CH2」(項目NO.3006)を「AUDIO」に設定します。

(LTCのタイムコードをダビングする場合は、50ページを参照ください。)

■ダイヤルメニュー機能の「IMAGE MODE SELECT」(項目NO.2001)を「EDIT」に設定します。

1 S-VIDEOケーブル使用の接続

主な設定 (ソース機側)

●ダイヤルメニュー機能「SYNC」
(項目NO.1001) → 「NORMAL」

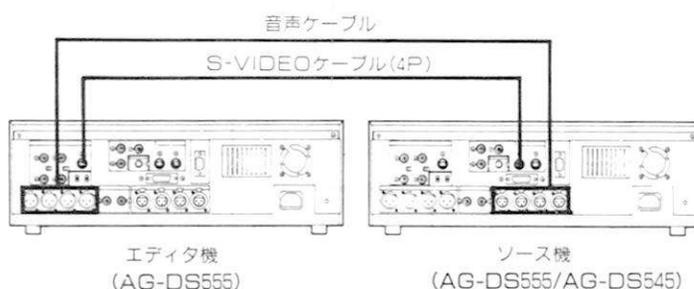
●ダイヤルメニュー機能
「IMAGE MODE SELECT」
(項目NO.2001) → 「EDIT」

主な設定 (エディタ機側)

●INPUTスイッチ → 「S-VIDEO」

●ダイヤルメニュー機能「SYNC」
(項目NO.1001) → 「NORMAL」

●ダイヤルメニュー機能
「IMAGE MODE SELECT」
(項目NO.2001) → 「EDIT」



2 BNCケーブル使用時の接続

主な設定 (ソース機側)

●ダイヤルメニュー機能「SYNC」
(項目NO.1001) → 「NORMAL」

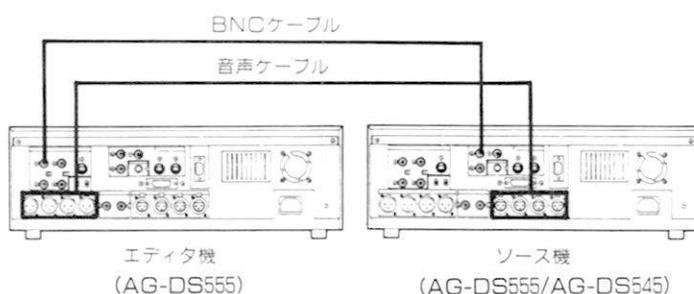
●ダイヤルメニュー機能
「IMAGE MODE SELECT」
(項目NO.2001) → 「EDIT」

主な設定 (エディタ機側)

●INPUTスイッチ → 「LINE」

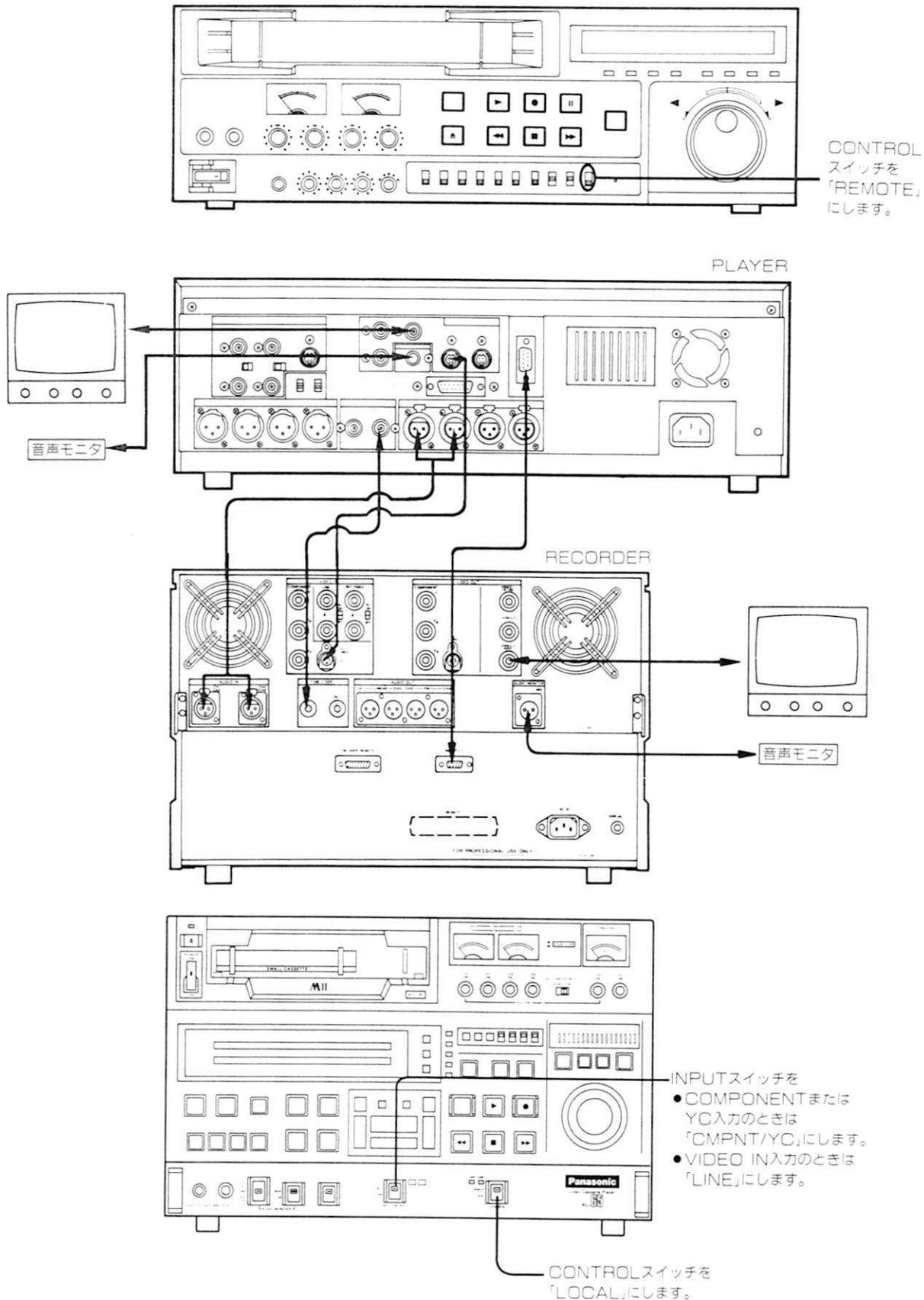
●ダイヤルメニュー機能「SYNC」
(項目NO.1001) → 「NORMAL」

●ダイヤルメニュー機能
「IMAGE MODE SELECT」
(項目NO.2001) → 「EDIT」



業務用M II機を使ったシステム

本機は、RS-422Aインターフェースを有していますので、業務用M II機と接続することが可能です。



※上記システムは、業務用M II VTR AU-65を使用したものです。

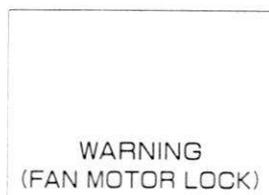
エラー表示について

カウンタディスプレイにエラーが表示されている場合は、本機になんらかの異常が発生しています。このような場合は、速やかに操作を止め、下記の内容に従って対処くださいますようお願いいたします。

エラー表示	エラー内容	対 処
d	露付き	電源を付けたまま、エラー表示が消えるまでお待ちください。(下記メモ参照)
E-0*	ファンモータ部分の異常	電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。
E-2	エレベータ部分の異常	カセットが正しく挿入されていない場合に発生します。電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。
E-3	ローディング部分の異常	
E-4	シリンダ部分の異常	テープに露が付くなど、負荷が重い場合に起こります。電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。
E-5	リール部分の異常	
E-6	テンション部分の異常	
E-7	ソレノイド部分の異常	電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。

■上記で正常に動作しない場合は、販売店にご相談ください。

※ファンモータ部分のエラー表示



ファンモータ部分に異常が起こりますと、左記のワーニング表示が通常のカウンタ表示と交互にモニタ画面に出力されます。出力後は、約20分後に本機の電源が自動的に切れるため、すみやかに作業を終了して、電源を切ってください。約20分後に電源を再投入することができます。

メモ

「露付きが起こるのは」

これは暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）が付くのと同一原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

■湯気がたちこもる、湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。

■冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

故障かな?と思う前に…ちょっと!

下記の項目を点検、調整していただき、それでもなお異常があるときは販売店にご相談ください。

症 状	点 検・調 整	参照ページ
電源が入らない	■電源コードは外れていませんか?	—
操作ボタンを押しても動作しない	■カウンタディスプレイにエラー表示はでていませんか?	59
	■CONTROLスイッチが「REMOTE」になっていませんか?	24
	■サーチダイヤルモードスイッチが「MENU」になっていませんか?	36
テープの早送り・巻戻し ができない	■テープの早送り・巻戻しが終わっていませんか? ■MEMORYスイッチが「AUTO STOP」になっていませんか?	— 21
録画・編集ができない (AG-DS555のみ)	■カセットの「つめ」が折れていませんか?	15
	■INPUTスイッチの設定は正しいですか?	24
再生がザラザラしている	■ダイヤルメニュー機能の「IMAGE MODE SELECT」 (項目NO.2001)が「EDIT」になっていませんか?	40
	■ビデオヘッドが汚れていませんか?	65
通常再生時、画像の一部 がしま状になっている	■TRACKING調整が合っていますか?	19
再生画に色がつかない	■入力信号はカラーでしたか?	—
	■ダイヤルメニュー機能でカラーモードがB/Wモードになっていませんか?	40
一定の時間間隔において 再生画像が乱れる	■モニタテレビの垂直同期は合っていますか?	—
	■録画時に電源電圧の変動が激しくなかったですか?	—
	■カセットテープは良好ですか?	—

サーボリファレンスについて

本機はサーボ用のリファレンス信号として、INPUTスイッチで選択した入力ビデオ信号、REF IN端子より入力したREF VIDEO信号、または内部同期信号のいずれかを自動的に選択します。本機はノーマル再生または記録の時、サーボ用のリファレンス信号とダイヤルメニュー機能(項目NO.1001「SYNC」)との関係は以下のとおりです。

■再生時

SYNC SELECT スイッチの位置	入力信号の状態		リファレンス信号
	VIDEO IN信号 (AG-DS555のみ)	REF IN信号	
NORM	○	○	REF IN信号
	○	×	内部同期信号
	×	○	REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT	○	○	REF IN信号
	○	×	内部同期信号
	×	○	REF IN信号
	×	×	内部同期信号

■編集時または記録時

SYNC SELECT スイッチの位置	入力信号の状態		リファレンス信号
	VIDEO IN信号 (AG-DS555のみ)	REF IN信号	
NORM	○	○	VIDEO IN信号
	○	×	VIDEO IN信号
	×	○	REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT	○	○	REF IN信号
	○	×	内部同期信号
	×	○	REF IN信号
	×	×	内部同期信号

○は信号が入力されている。×は信号が入力されていない。

コネクタの信号について

REMOTE 9P 端子

ピン番号	信号内容
1	GND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	SPARE
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	GND

S-VIDEO IN/OUT 端子(4P)

ピン番号	信号内容
1	Y GND
2	C GND
3	Y 信号
4	C 信号

(入力端子はAG-DS555のみ)

AUDIO IN/OUT 端子(XLR)

ピン番号	信号内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

(入力端子はAG-DS555のみ)

TBC REMOTE 端子(15P)

ピン番号	信号内容
1	—————
2	SET UP
3	C LEVEL
4	GND
5	+12V
6	SYSTEM Hφ
7	SYS.SC COARSE (2)
8	-12V
9	HUE
10	VIDEO LEVEL
11	RET GND
12	—————
13	—————
14	SYS.SC FINE
15	SYS.SC COARSE (1)

REMOTE 34P 端子(別売品)

ピン番号	信号内容
1	REC SWITCH *1 *3
2	PLAY SWITCH *1
3	FF SWITCH *1
4	REW SWITCH *1
5	STOP SWITCH *1
6	—————
7	PAUSE SWITCH *1
8	CASSETTE IN *2
9	CUT IN SWITCH *1
10	—————
11	SERVO LOCK *2
12	GND
13	STEP SWITCH *1
14	REVERSE COUNT *2
15	CUT OUT SWITCH *1 *3
16	EDIT SWITCH *1 *3
17	REVERSE IN *2
18	CONTROL PULSE OUT
19	REMOTE 19 *1
20	START MARK
21	EJECT SWITCH *1
22	INSERT CH1 *1 *3
23	REC HOLD *2 *3
24	PLAY HOLD *2
25	FF HOLD *2
26	REW HOLD *2
27	INSERT CH2 *1 *3
28	—————
29	PAUSE HOLD *2
30	REMOTE30 *1
31	CUT IN HOLD *2
32	INSERT VIDEO *1 *3
33	REMOTE33 *1
34	+12V

*1 接地入力です。

*2 オープンコレクタの接地入力です。

*3 AG-DS555のみ。

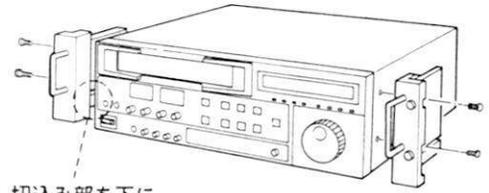
ラックマウントアダプタ (別売品)

本機にラックマウントアダプタAG-M730-Eを取り付けると、EIAJ規格の標準ラックに収納できます。

取付け方法

1 本機側面のネジ(4ヶ所)を外します。

2 同梱のネジでラックマウントアダプタを取り付けます。

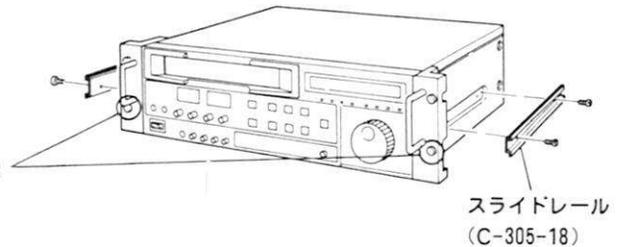


切込み部を下にして取り付けてください。

スライドレールの取付

アキュライド社のスライドレール(品番C-305-18)、ブラケット(品番RBA2-35-200E)をご使用ください。(当社では取り扱っていません。)

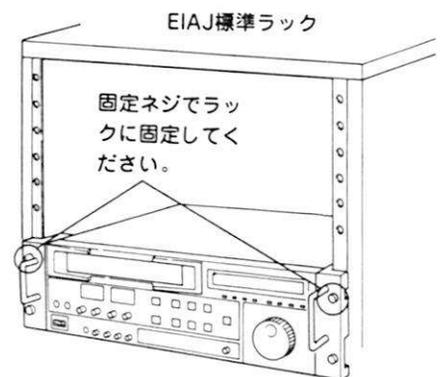
ラックの種類によっては、下の固定ネジが締められない場合があります。そのときは外してください。



ラックへの取付

1 本機底面のゴム足(4ヶ所)を外します。

2 ラックに収納します。
■ラックの天部に必ず換気ファン(風量3.3m³/秒程度)を取り付けてください。



●詳しくは販売店にご相談ください。

付属品と別売品のご紹介

付属品

本機に以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

- 電源コード.....品番VJA0686

別売品

- S-VIDEOケーブル (4P) 品番AG-C71 (5m)
品番VW-CV3 (3m)
品番VW-CV2 (2m)
品番VW-CV1 (1.5m)
- 編集コントローラ.....品番AG-A850
品番AG-A350
- ラックマウントアダプタ.....品番AG-M730-E
- 34Pリモート端子.....品番AG-IA834

カセットテープについて

本機は編集・送出など、高信頼性を要求される商品として設計されています。

録画の信頼性を確保するため、以下のパナソニックビデオカセットテープのご使用をおすすめします。

- S-VHSビデオテープ 品番NV-ST120(2時間)
品番NV-ST60 (1時間)
品番NV-ST30(30分間)

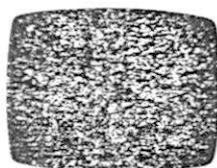
■VHSビデオテープ

ビデオテープ品番			記録・再生時間
標準テープ	スーパーHG	スーパーHG Hi-Fi	標準モード
NV-T160	—	—	2時間40分
NV-T120	NV-T120HG	NV-T120HF	2時間
NV-T90	—	—	1時間30分
NV-T60	NV-T60HG	NV-V60HF	1時間
NV-T40	NV-T40HG	—	40分
NV-T30	NV-T30HG	—	30分
NV-T20	NV-T20HG	—	20分

日常点検について

ヘッドクリーニングについて

下のような症状が現れたときは、ビデオヘッドが汚れています。
別売のクリーニングテープ（NV-TCLA）をご使用になってビデオヘッドを清掃してください。
清掃しても、状態がよくならないときは購入店にご相談ください。



- ヘッドクリーニングを何度を行うとビデオヘッドの寿命が短くなりますので、ご注意ください。
- ヘッドクリーニングテープには録画することはできません。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。キャビネットの清掃はやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所用洗剤を薄め、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。シンナー、ベンジンはご使用にならないでください。

保管について

- 極端に温度の高い場所、低い場所では保管しないでください。
- 屋外に放置することは絶対に避けてください。
- 万一の事故防止のため、長期間ご使用にならないときは、電源スイッチを切って、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
- カセットテープは、必ず取り出しておいてください。

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書—内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめてお買い上げの販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2. 保証期間—1カ年

取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
- (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
- (ヘ) 別に指定する摩耗性の部品*、あるいは付属品の故障及び損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな！と思う前に…ちょっと」の項を点検していただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

※摩耗性の部品とは下記部品類です。

- | | |
|---------|---------|
| ・ビデオヘッド | ・各種ベルト |
| ・ピンチローラ | ・ゴムプリー類 |
| ・各種ブレイキ | ・ローラ類 |
| ・モータ類 | ・ヘッド類 |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- ・複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラ、ヘッドなどが数多く使用されています。
- ・これら部品は、使用時間が経過するにつれて摩耗劣化し、故障の原因となります。
- ・また、ほこり、ごみなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に従来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定格

一般

電源 : AC100V 50/60Hz
消費電力 : AG-DS555 : 65W
AG-DS545 : 51W

は安全項目です。

録画方式	2ヘッドヘリカルスキャンアジマス記録S-VHS/VHS規格
テープ速度	33.35mm/秒 (通常時)
使用テープ	S-VHSテープ・VHSテープ
録画時間	120分 (NV-T120使用時)
早送り/巻戻し	2分以内 (NV-T120使用時)
許容相対湿度	35%~80%
許容温度	5°C~40°C (動作時)
外形寸法	424 (幅) × 131.5 (高さ) × 415 (奥行) mm
重量	AG-DS555 : 11.7kg AG-DS545 : 11.2kg

映像系

テレビジョン方式	NTSCテレビジョン方式 525本 60フィールド
入力/出力 (入力はAG-DS555のみ)	ライン (BNC) : 1.0Vp-p 75Ω S-VIDEO (4P) : Y:1.0Vp-p 75Ω /C:0.286Vp-p 75Ω (バースト)
水平解像度	VHS : 240本以上 S-VHS : 400本以上
S/N	VHS : 46dB (カラーモード) S-VHS : 50dB以上 (カラーモード、DNR使用)

音声系

入力 (入力はAG-DS555のみ)	ラインHi-Fi (XLR) : +4/0/-6dBs ハイインピーダンス ラインNORM (XLR): +4/0/-6dBs ハイインピーダンス マイク : -50dBV 4.7kΩ 不平衡 タイムコード (BNC) : 1.0Vp-p 10kΩ 不平衡
出力	ラインHi-Fi (XLR) : +4/0/-6dBs 出カインピーダンス50Ω ラインNORM (XLR): +4/0/-6dBs 出カインピーダンス50Ω ヘッドホン (M6) : -60dBV~-20dBV 8Ωアンバランス モニタ (ピンジャック) : 0dBV 600Ωアンバランス タイムコード (BNC) : 2.4Vp-p ローインピーダンス不平衡
トラック数	4トラック (NORM音声2トラック・Hi-Fi音声2トラック)
S/N	48dB (DOLBY NRスイッチ「ON」(ノーマル音声時))
Hi-Fiダイナミックレンジ	90dB以上
音声周波数特性	50Hz~12kHz (ノーマル音声) 20Hz~20kHz (Hi-Fi音声)

松下電器産業株式会社 放送システム事業部

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161